KINTETSU
GROUP HOLDINGS

CSRレポート 2015



近鉄グループホールディングス株式会社

近鉄グループ経営理念

「いつも」を支え、「いつも以上」を創ります。

わたしたちは、誠実な企業活動により、暮らしの安心を支えます。
わたしたちは、果敢な挑戦により、新たな価値を創出します。
わたしたちは、多様な人々との協働により、社会に貢献します。



奈良公園



吉野山



英虞湾（あご）

お客様の安全・安心を堅持し成長に向けての変革を進める企業グループへ



近鉄グループは2015年4月1日に純粋持株会社制に移行し、新たな一歩を踏み出しました。暮らしの安心を支え、新たな価値を創出し、社会に貢献することをグループ経営理念として掲げており、輸送の安全、食の安全といったお客様の安全・安心の確保には今以上に丁寧かつ慎重に取り組むとともに、各事業会社の得意とする領域では専門性を磨き、社会に貢献してまいりたいと思います。

当社では、本年5月に「近鉄グループ経営計画（2015年度～ 2018年度）」を定めました。財務健全性の確保はもとより、近鉄グループのシナジーを活用した3つの重点テーマにより持続的な成長を目指したいと考えます。

重点テーマの1つ目は「『あべのハルカス』の収益基盤強化」です。百貨店やホテルなどの収益力強化とともに、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン®や海遊館との連携、アベノ・天王寺エリアの魅力向上など地域のポテンシャルを上げて収益基盤を強化していく所存です。2つ目は「インバウンド・観光による収益増大」です。当社グループの事業エリアには、4つの世界遺産、海遊館、伊勢志摩近鉄リゾートなどの多様な観光資源があります。本年11月には大阪府下「エキスポシティ」内に生きものや自然を間近に楽しめるミュージアム「ニフレル」をオープンし、新たな魅力の発信を始めました。これらをインバウンドの受け皿として有機的に結合させ、収益の増大につなげたいと考えております。3つ目は、「不動産事業の強化」です。近鉄不動産を中心に近鉄グループのCRE（企業不動産）戦略を推進し、商業リーシングも含めた賃貸事業等の事業領域と首都圏事業エリアの拡大を図ってまいります。

さて、2016年5月、主要国首脳会議（サミット）が、三重県の伊勢志摩地域で開催されます。長年にわたりこの地域で事業を展開してきた近鉄グループとして、サミット成功に向けて関係機関と協力するとともに、引き続き同地域の魅力を向上させ、新たな価値の創出に努めてまいります。

この「CSRレポート2015」では、新しくグループ会社の取組みも紹介しています。皆様とともに歩み続ける近鉄グループについて、広くご理解を賜りましたら幸いに存じます。

2015年12月
近鉄グループホールディングス株式会社
取締役社長　吉田昌功

会社概要 (2015年3月現在)

■会　社　名 (2015年4月1日に名称変更)
近鉄グループホールディングス株式会社
(英文名　Kintetsu Group Holdings Co.,Ltd.)

■設立年月日　1944年6月1日 (前身の奈良軌道株式会社は、1910年9月16日設立)

■本社所在地　大阪市天王寺区上本町6丁目1番55号

■主要なグループ事業

(1) 運輸業
(鉄軌道事業・旅客自動車運送業)

(2) 不動産業

(3) 流通業
(百貨店業・ストア業・飲食店業)

(4) ホテル・レジャー業
(ホテル業・旅館業・旅行業・映画館業・テーマパーク業)

(5) その他
(一般放送業・電気通信業)

■資本金　126,476百万円

■事業年度　4月1日から3月31日まで

■連結売上高　2014年度　1,233,798百万円

近畿日本鉄道(株)は、2015年4月1日に純粋持株会社制へ移行し、「近鉄グループホールディングス(株)」に商号変更しました。鉄軌道事業、索道事業および旅客誘致に係る事業は近畿日本鉄道(株)に、不動産事業は近鉄不動産(株)に、ホテル事業および旅館事業は(株)近鉄・都ホテルズに、流通事業は(株)近鉄リテーリングに承継されました。

近鉄ラグビー部「近鉄ライナーズ」

LINERS
KINTETSU RUGBY FOOTBALL TEAM



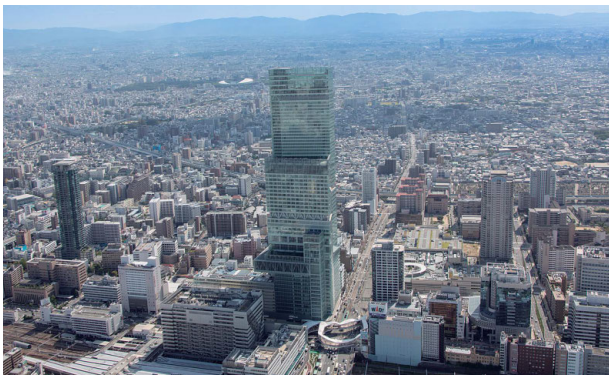
(左)日本代表　トンプソン・ルーク選手　(右)豊田大樹キャプテン

運輸業



観光特急「しまかぜ」

不動産業



あべのハルカス

流通業



あべのハルカス近鉄本店

ホテル・レジャー業



大阪マリオット都ホテル レストラン「ZK」

目　次

近鉄グループ経営理念 ……1
ごあいさつ ……2
会社概要 ……3
近鉄グループ中核会社のトップが語る事業展望 ……5
近鉄グループ経営計画 ……9
特集 伊勢志摩 ……11
特集 あべのハルカス ……15

Ⅰ．企業体制
1．CSR推進体制 ……17
2．コンプライアンス ……18
3．リスクマネジメント ……19
4．コーポレートガバナンス／内部統制 ……20
5．人材活用 ……21

Ⅱ．事業紹介
1．運輸事業 ……23
2．不動産事業 ……24
3．流通事業 ……25
4．ホテル・旅館事業 ……26
5．レジャー事業・サービス事業 ……27
6．文化事業 ……28
7．スポーツ事業 ……28

Ⅲ．お客様・地域とともに
1．より良いサービス提供のために ……29
2．受賞・表彰等 ……31
3．お客様への情報発信 ……32
4．鉄道事業の取組み ……33
5．お客様・地域社会とのコミュニケーション ……35
6．社会貢献・環境保全活動 ……37
7．インバウンドの取組み ……39
特集 いろいろな近鉄電車 ……40

Ⅳ．安全・安心の取組み
1．鉄道事業の取組み（災害対策）……41
2．鉄道事業の取組み（駅における安全対策）……43
3．いろいろな取組み ……44

Ⅴ．環境報告
1．環境推進体制 ……45
2．外部認証・表彰等 ……45
3．環境目標と環境負荷データ ……47
4．鉄道事業の環境取組み ……49
5．あべのハルカスの環境取組み ……51
6．いろいろな環境取組み ……53

記事のマークについて

近鉄グループの取組みを幅広く紹介しており、主要なグループ会社の取組みについて、それぞれマークをつけています。

＜マークの種類と色＞

1 な　し　近鉄グループホールディングス(株)の取組み
2 鉄　道　近畿日本鉄道(株)の取組み
3 不動産　近鉄不動産(株)の取組み
4 ホテル　(株)近鉄・都ホテルズの取組み
5 リテーリング　(株)近鉄リテーリングの取組み
6 百貨店　(株)近鉄百貨店の取組み
7 KNT-CT　KNT-CTホールディングスグループの取組み
8 グループ　上記以外のグループ会社の取組み

※分社化以前の「近畿日本鉄道(株)」の取組みは、適宜分類しています。

編集方針

○報告内容範囲

当社および当社グループが、企業の社会的責任として取り組んでいる企業活動、安全推進活動、環境保全に関する報告を中心に掲載し、経済活動およびその実績の詳細については、開示資料およびホームページに掲載しています。

冊子では重要な内容を中心に紹介し、より詳細な内容は、当社ホームページに掲載しています。
http://kintetsu-gh-d.co.jp/csr

○数値データ　集計対象期間

2014年4月1日～2015年3月31日

数値データについては、分社化前の近畿日本鉄道㈱単体、または一部のグループ会社の合計となります。

○対象範囲

当社およびグループ会社を対象とし、2015年度の取組みも一部紹介しています。

○作成指針

以下のガイドライン等を参考にしました。
環境省「環境報告ガイドライン2012年度版」
環境省「環境会計ガイドライン2005年度版」

※可能な限り収集データには精度を求めましたが、一部推計として集計しているものがあります。

○内容へのご意見・お問い合わせについて

当社では、ホームページの「ご意見・ご要望・お問い合わせ」ページ等で広くお客様の声をお待ちしています。CSRに関する当社の取組みや本レポートへのご意見・ご感想を頂ければ幸いです。お寄せいただきましたお客様の声は、今後の施策の参考にいたします。

「ご意見・ご要望・お問い合わせ」ページ
http://www.kintetsu-g-hd.co.jp/contact/index.html

（お問い合わせ先）
近鉄グループホールディングス株式会社　総務部(安全環境)
〒543-8585　大阪市天王寺区上本町6-1-55
TEL:06-6775-3357

近鉄グループ中核会社のトップが語る事業展望

守るべきものは守り、変えるべきものは躊躇なく変える

近鉄グループホールディングス(株)
取締役会長　小林　哲也



近鉄グループに今必要なことは、世の中の判断基準や生き方が常に変わるということを認識することだと思います。近鉄グループは100年の歴史と伝統を持つ企業集団ですから、しっかりと守らなければならない考え方や基準があります。その一方で、世の中の考え方や仕組み、そして人々のライフスタイルは、すごいスピードで変化しています。各事業会社のトップの皆さんには、「守るべきものは守る、変えるべきものは躊躇なく変える」という意識を持っていただきたいと思います。

また、近鉄グループは、鉄道、不動産、流通、ホテル・レジャーなど多種多様な事業を水平的に展開している企業集団です。事業のやり方や文化、風土もそれぞれ異なる事業会社がうまく連携していけるかが大きな課題と考えています。連携、連携と言いすぎると、もたれあいになってしまう危険がありますが、それぞれがしっかりと自立したうえで、協力することが重要です。そして様々な企業風土がある中で、グループ間の連携・調整を行うのが、ホールディングスの役割です。

この機会が、近鉄グループのビジネスモデルを変革するまたとないチャンスです。過去の慣例や固定概念にとらわれず、自由な発想で、知恵を出し合い、新たな事業に果敢に挑戦してもらえればと思います。

大いに議論し、素早く実行し、成果につなげる

近鉄グループホールディングス(株)
取締役社長　吉田　昌功



近鉄グループの強みと弱みを正しく把握し、注力すべき事業を見極め、事業間の連携を進めること、経営資源を適切に配分することで、状況に応じて事業を組み換えていくことが、ホールディングス社長としての私の役割と考えています。そのために、各事業会社のトップの皆さんと大いに議論を交わし、決めたことを素早く実行していく企業体質を作っていきたいと思います。

近鉄グループの発展は、当社グループをご利用いただくお客様をいかに増やしていけるか、言い換えれば、いかに多くのファンを作ることができるかで決まります。

当社グループがこれからも持続的に成長し続けるためには、社会情勢やお客様のニーズを常に意識し、変化に柔軟に対応して結果を残すことで、収益力を向上させたいと考えます。

また、大阪のランドマークとして注目を集めているあべのハルカスにつきましても、多くのお客様にお越しいただいており、海遊館をはじめグループ間の連携はもちろん、地域と一体となった取組みをより強化することで、近鉄グループのブランド力を向上させていく所存です。私の思い描く近鉄グループのあるべき姿は、「力強く柔軟で、社員が誇りを持って働き、成果を残す企業」です。

輸送の安全を最優先し
すべてのお客様に支持される鉄道に

近畿日本鉄道(株)
取締役社長　和田林　道宜



公共輸送を担う鉄道事業者として、お客様を目的地まで安全にお運びすることを何よりも優先して考えています。ルールや手順といった守るべきものはしっかりと守り、駅・運転・車両・施設のすべての鉄道従事員がそれぞれの責務を果たしつつ、みんなで協力して輸送の安全を確保していく、そしてさらに安全な鉄道を目指して日々改善を重ねていく。こうした地道な積み重ねにより、お客様の信頼を得たいと思います。

一方、営業施策的には、人口減少時代を迎え、鉄道を取り巻く経営環境は一層厳しくなることが予想されています。このため沿線の自治体やグループのホテル・観光施設と連携し、新しい観光資源の発掘を進めていくとともに、近年増加している外国人観光客の誘致もより強化する必要があります。「しまかぜ」、「つどい」に続き、来年秋には南大阪線・吉野線に観光特急の導入を予定しており、沿線の自治体の協力も得て、南大阪・吉野エリア全体の観光資源のひとつにしていきたいと考えています。

近鉄沿線に住みたい、訪れたいと思っていただけるお客様を増やすことが当社の発展につながることであり、今後とも沿線の皆様との連携を深め、地域の発展に貢献していきたいと思います。

グループ全体の最適を考えた
投資戦略

近鉄不動産(株)
取締役社長　赤坂　秀則



不動産を取り巻く事業環境は、人口減少、少子高齢化による市場縮小が懸念される中、環境や健康に対するニーズが高まるなど、お客様のニーズも刻々と変化しています。変化を的確に捉え、迅速かつ柔軟に対応することで収益に結びつけていきます。また2年目に入ったあべのハルカスの事業運営も、この4月から当社が担当しています。1年目以上の成果を出せるよう、施設間や地域と連携しながら頑張ってまいります。

当社では、3つの重点戦略として、「総合デベロッパーとして沿線の活性化に寄与すること」「首都圏事業の拡大」「仲介・リフォームの連携による収益力の拡大」を掲げています。今後は、不動産に関するグループネットワークの充実を図り、グループの全体最適を考えた効率的な投資戦略を実践し、収益力の高い不動産事業を構築していきます。

今後事業を拡大するうえでは「情報」が最も重要と考えています。百貨店でお持ちのお客様をご紹介いただいたり、また、すでに首都圏で事業展開をしているKNT−CTホールディングス、近鉄エクスプレス、近鉄・都ホテルズなど、近鉄グループ内の情報連携はもちろん、グループ外の異業種企業との交流機会を増やすことで、様々な情報を入手し、新たな事業展開に役立てたいと考えています。

宿泊部門の重視と婚礼・レストラン部門の強化

(株)近鉄・都ホテルズ
取締役社長　二村　隆



昨今ホテルでは、訪日客増加を背景に宿泊部門の収益が増加しています。今後も成長が期待できる宿泊部門に資源の重点配分を行い、より強い事業に育てます。具体的には、一室あたりのベッド数を増やしたり、新たに宿泊主体型ホテルを、今後も需要を見込める都市に展開したいと考えています。また、増加するインバウンド需要には、より積極的な誘致活動により、百貨店はじめグループ各社に誘引するシャワー機能を担っていきます。

一方、減収傾向にある婚礼・レストラン部門の構造を宿泊が好調な今のうちに、強靭なものに鍛え直します。都ホテルならではの料理やサービスといった「筋肉」をいま一度磨き直すと同時に、医薬学会などを中心としたMICE(Meeting, Incentive, Convention and Event: 宿泊付き宴会)部門を強化します。

ホールディングス化により、資産が近鉄不動産に移り、当社は運営に特化できますので、今後は運営ノウハウを外部に商品化できる体制づくりを進めるとともに、お客様の事前期待感を超える「近鉄・都ホテルズ」を目指します。

事業基盤の確立と構造改革の断行

(株)近鉄リテーリング
取締役社長　中井　潔



現状では駅ナカ事業は開発余地がなく、業態も多様化しています。今後の駅ソトへの進出のためにも、事業基盤の確立に注力し、そのための構造改革を断行したいと考えています。事業を正確に捉え、きちんと経営判断、対応ができる後方部門を育て、営業部門も管理部門もひとつの目標に向かって力を結集できるような組織体制を構築することが大切です。

流通事業としてのQSC(Q:クオリティ=品質、S:サービス、C:クリンリネス=清潔さ)を向上させる鍵を握るのは人材です。人材育成が我々の大きな課題です。流通事業は非常に変化の激しい分野ですので、変えてはならないものとすぐ変えなければならないものを現場主義でしっかり見極めて、朝令朝改、改めることは即座に変えていく、ただし根はブレることなくいきたいと思っています。

(株)近鉄リテーリングでは、パートやアルバイトが数年で入れ替わります。その人たちのスキルを上げるためには、パートやアルバイトの皆様を育成する社員のスキルをあげる必要があります。そこにしっかりと取り組み、パートやアルバイトのスキルとモチベーションを上げてQSCの向上につなげたいと考えています。

質の高い旅行商品へのシフトと改革

KNT−CTホールディングス(株)
取締役社長　戸川　和良



旅行業界はインターネット等の普及により事業環境は激変しています。情報源としての旅行会社の優位性がなくなり、インターネットを通じた旅行の販売が増大しつつあります。また、インバウンドについては、訪日客は急激に伸びていますが、日本の旅行会社はそれらをうまく取り込めていないのが現状です。

こうした中で、当社グループの主要3社のうち個人旅行会社の厳しい状況が続いています。かつての量を追い求めた体質からの転換を図りつつありますが、ピークに比べて取扱高は下落しています。現在は質の高い利益の残る商品にシフトしつつあり、製販一体で商品改革に取り組んでいます。Webについても、遅ればせながら昨年から「e宿」という宿泊ネット販売を始めました。

また、グループ全体として、東京オリンピック・パラリンピック開催が決まり、確実にビジネスチャンスが拡大するスポーツ事業、そして訪日旅行事業、地方と一緒にすすめる地域誘客・交流事業に力を入れて取り組んでいます。

我々グループの強みが最も活かされ、他社に負けない分野を積極的に開拓していきたいと考えています。

本店整備と収益基盤の多様化

(株)近鉄百貨店
取締役社長執行役員　高松　啓二



百貨店業界を取り巻く環境は市場規模が縮小する中で、近年の大型商業施設の開業が続いたことによる売場面積の増加、小売業界の多様化と業態間競争の激化、消費者の価値観や消費二極化の変化など厳しさを増しています。

このような中、「あべのハルカス近鉄本店」も売上高は前年を上回るものの、目論見通りにはいっていません。当社の収益基盤は、その90%を百貨店事業に依存していますので、その中心となる「あべのハルカス近鉄本店」を安定した利益を生み出す旗艦店舗として再整備していくことが喫緊の課題です。

その対応策としては、新たなマーケットとして出現したインバウンド需要や、当店ではレストランフロアを支えてくれているシニアマーケットへの対応などいろいろ考えており、たとえばユニバーサル・スタジオ・ジャパン®との提携による集客強化やフォーリンカスタマーズサロンの開設等を行いました。中期的には、収益基盤を多様化しないと会社の経営が安定しないので、従来の百貨店とは違った分野へ、たとえば東急ハンズ事業や天王寺エントランス魅力創出事業等も含めて、事業領域の拡大に積極的に取り組んでいきます。

近鉄グループ経営計画(2015年度～2018年度)

近鉄グループ経営計画とは

前回の2010年度から5ヵ年の「近鉄グループ経営計画」におきましては、新たな収益基盤の確立をめざし、「あべのハルカス」をはじめとする各種プロジェクトを推進するとともに、財務健全性の向上にも努めてきました。

その中、グループ経営管理機能の強化と各事業会社の自立的経営の推進による企業価値増大を目的として、2015年4月1日に純粋持株会社制に移行しました。

今後は、グループ連携の強化によりグループの総合力を最大限に発揮していくためのグループ経営体制を構築するとともに、各事業会社がそれぞれの特性を活かしながら、既存事業の構造改革継続による収益力の長期安定化と、事業領域・エリアの拡大による新たな収益基盤の育成にも取り組んでいきます。

基本方針

「成長へのシフト」と「財務健全性の確保」の両立

基本戦略

1. 既存事業の構造改革継続による利益創出力の長期安定化

鉄道事業では、安全の確保を前提に、引き続き構造改革を進め、少子高齢化・人口減少などの市場の変化に対応しうる事業運営体制を確立していきます。また、2014年3月に全面開業した「あべのハルカス」を確固たる収益基盤とすべく、近鉄百貨店の店舗収益力強化等を進めていきます。さらに、ホテル事業における改装促進など、各事業において利益創出力の強化に取り組みます。

2. 事業機会を最大限に活用した収益増大

インバウンド旅客の増加、リニア新幹線開業や東京オリンピック・パラリンピック開催など各種イベントによる観光需要の増加を好機ととらえ、鉄道、ホテル、旅行、百貨店などグループ全体で収益の増大を図ります。

3. 事業領域・エリアの拡大による新たな収益源の育成

近鉄不動産を筆頭に、関連する事業領域の拡大や、首都圏など沿線外への事業エリア拡大にも積極的に取り組んでいきます。さらに、状況に応じてM&A等により必要機能を獲得し、新たな収益源の育成に注力していきます。

4. 持株会社の戦略機能の発揮によるグループシナジーの最大化と財務基盤の一層の充実

純粋持株会社制のもと、各事業の競争力強化やグループ連携強化のためのグループ経営体制を確立し、グループ経営資源の有効活用とグループシナジーの最大化を図ります。また、適切な財務戦略を推進することで資産効率の向上を図り、自己資本を蓄積しつつ自己資本利益率（ROE）を8%台で維持いたします。また、有利子負債削減を同時に進めて、有利子負債／EBITDA倍率とD／Eレシオの向上を図ります。なお配当については、引き続き安定配当を維持します。

5. 各事業の運営力強化とサービスの質の向上による「ファンづくり」

お客様のご満足を頂いているかを常に問いながら、各事業の運営力を強化するとともに、より質の高いサービスを提供できる各事業に適した人材を育成していきます。

事業戦略の重点テーマ

1.「あべのハルカス」の収益基盤強化

近鉄百貨店の店舗力や集客力の向上による収益力強化や、展望台・ホテルの収益力維持、さらにグループ間及び外部との連携の推進と、地域ポテンシャルアップを図り、「あべのハルカス」全体の収益基盤を強化します。

2. インバウンド・観光による収益増大

観光に関わる多様な事業と、世界遺産など貴重な観光資源を沿線に有する近鉄グループの強みに加え、ゴールデンルートからのアクセスの良さを活かして、インバウンド旅客への対応力を強化します。ホテル、旅行業において、インバウンド需要取込みのための営業強化や商品充実を図り、鉄道事業においても、戦略商品である特急サービスをさらに磨き上げることで、グループ全体の収益増大に取り組みます。

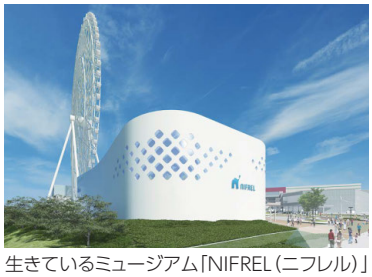
3. 不動産事業の強化

近鉄不動産を中心に、近鉄グループのCRE戦略を推進し、商業リーシングも含めた賃貸事業等の事業領域と、首都圏など事業エリアの拡大を図っていきます。また引き続き、「住み替えサイクル構想」に基づく住みよい街づくりの推進など沿線価値向上に取り組み、不動産事業を通じて企業価値の最大化を目指していきます。

経営指標目標

連結経営指標	2018年度目標	(2014年度実績)
営業利益	600億円	(564億円)
経常利益	550億円	(522億円)
有利子負債／EBITDA倍率	9倍程度	(10.6倍)
自己資本利益率 (ROE)	8%台	(9.3%)
D／Eレシオ	3倍未満	(3.7倍)

EBITDA＝営業利益＋減価償却費 (のれん償却含む)
D／Eレシオ＝純有利子負債÷自己資本



生きているミュージアム「NIFREL (ニフレル)」

前回経営計画（2010年度～2014年度）の振り返り

2014年3月に大阪阿部野橋駅に開業した超高層複合ビル「あべのハルカス」をはじめ、大阪上本町・京都各駅でグループの総合力を活かしたターミナル整備のほか、省CO_2など新たな価値を付加した住宅地開発など沿線深耕に取り組みました。

また、鉄道事業における効率的な運営体制の構築など事業構造改革を進めるとともに、観光特急「しまかぜ」による新規需要の創造や、メガソーラー・農業事業参入など新規事業の創出に努めました。

このほか、効率的なグループ経営を推進するための旅行・バス・タクシー事業の再編を実施し、2015年4月には、グループ経営体制の抜本的改革として、純粋持株会社制へ移行しました。これにより、グループ経営管理機能の強化と各事業会社の自立的経営の推進による企業価値増大を図っていきます。

連結経営指標	2014年度 経営計画目標	2014年度 実績
連結営業収益	1兆1,000億円	1兆2,337億円
連結営業利益	600億円	564億円
連結当期純利益	200億円	278億円
連結有利子負債	1兆2,800億円	1兆1,594億円
EBITDA倍率	11.0倍	10.6倍

営業利益目標は、電力料金値上げ等の影響があり未達成となりましたが、重点目標であった有利子負債削減により財務健全性は向上しました。

生きているミュージアム「NIFREL（ニフレル）」オープン

2015年11月、大阪府吹田市の万博記念公園「EXPOCITY」内に、㈱海遊館が初プロデュースする水族館、動物園、美術館のジャンルを超えた、生きているミュージアム「NIFREL（ニフレル）」がオープンしました。「感性にふれる」をコンセプトに、海遊館で培った技術と経験を活かし、まるでアートを楽しむかのように、生きものや自然の魅力を直感的に身近に楽しめる工夫を凝らしています。

海遊館は、世界最大級の水族館としてダイナミックな生態展示を世界に先駆けて実施し、生命と地球環境についてお伝えしてきましたが、新しい施設を開設することにより、これまで以上に自然や生物多様性に関わる機会を提供し社会に貢献していきます。

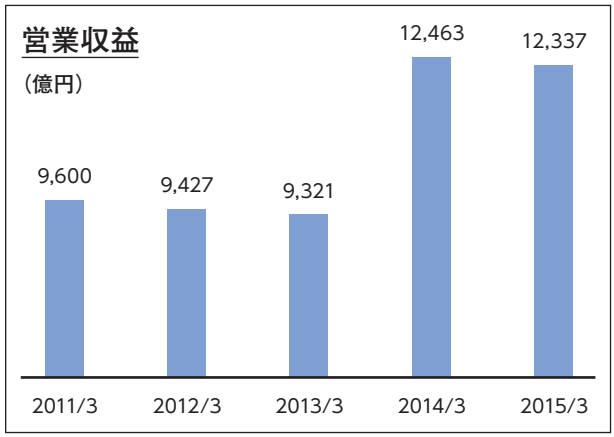

いろにふれる

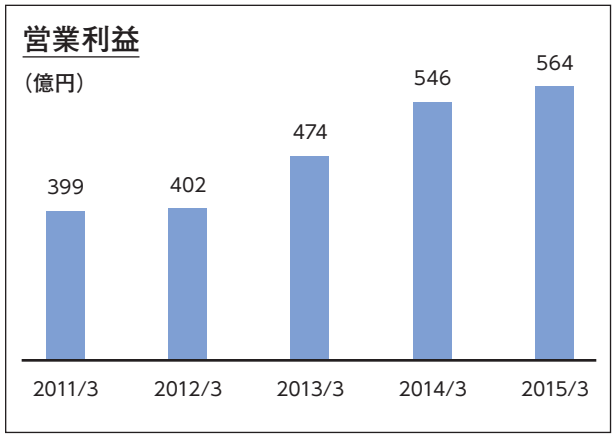

わざにふれる

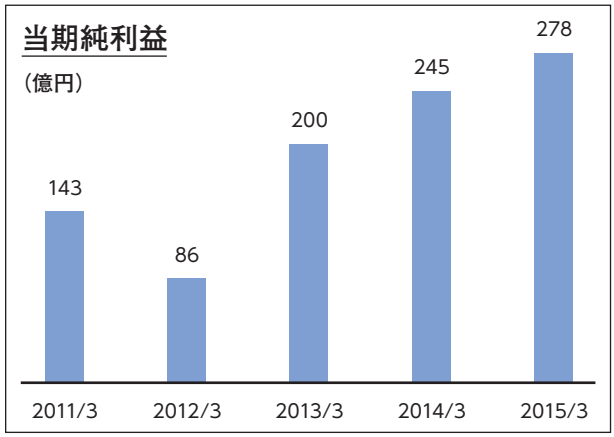

みずべにふれる

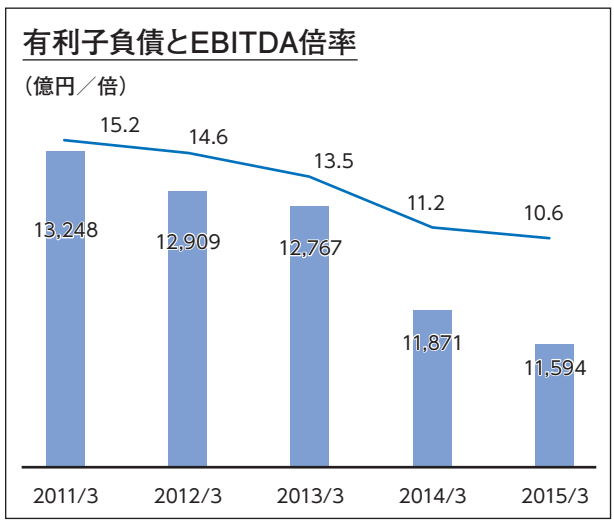

うごきにふれる

財務指標









特集　伊勢志摩


伊勢志摩国立公園

伊勢志摩国立公園

1946年11月、戦後初めて指定された日本で13番目の国立公園です。その広さは東西約50km、南北約40km、伊勢神宮の宮域林を含め、3市1町（伊勢市・鳥羽市・志摩市・南伊勢町）にわたります。また、古来「御食国（みけつくに）」と呼ばれ、伊勢神宮や朝廷に海の幸を献上し、昔から人と自然が調和して暮らしてきた歴史ある地域です。リアス式海岸や海食崖、日本最大の隆起海食台地などの海岸地形に特色があります。


伊勢志摩スカイライン


横山展望台


安乗埼灯台

2016年の主要国首脳会議（サミット）は、5月26日～27日の2日間にかけて、三重県志摩市の賢島で開催されます。

賢島を含む伊勢志摩地域において、近鉄グループは鉄道、ホテル、レジャーなど幅広く事業を展開しています。

世界の注目が集まるサミットは、伊勢志摩地域の知名度を高める絶好の機会であり、グループを挙げて商品企画やプロモーションなどを行い、伊勢志摩地域を世界有数の贅とくつろぎの国際リゾートへイメージアップさせたいと考えています。

観光特急「しまかぜ」


観光特急「しまかぜ」

展望車両、洋風・和風個室、カフェなど多彩な空間と、アテンダントによるきめ細やかなサービスを備え、「乗ること自体が楽しみとなる」新しい鉄道の旅を提供しています。大阪・名古屋発に加え、2014年10月より京都発の運行も開始しました。


本革3列プレミアムシート


カフェ（2階）


和風個室


サロンシート

観光列車「つどい」



観光列車「つどい」

伊勢志摩地域を周遊していただくことを目的に、2013年10月より運行を開始しました。伊勢志摩の特産品の販売や、景色が楽しめる窓向きの座席やこども運転台などを設置しているほか、2015年3月には「海のあそび場(ボールプール)」「ゆらゆらハンモック」が登場しました。



ゆらゆらハンモック



座席スペース



海のあそびば（ボールプール）

伊勢志摩での取組み



神宮式年遷宮行事への社員の参加



志摩マリンランド



パールシャトル
（伊勢神宮内宮・伊勢志摩近鉄リゾートホテル直行バス）



伊勢志摩ツーデーウオーク



伊勢志摩サイクリングフェスティバル



志摩ロードパーティ ハーフマラソン

志摩スペイン村　パルケエスパーニャ



志摩スペイン村キャラクター



サンタクルス通り



アトラクション

志摩観光ホテル（ベイスイート・クラシック）


志摩観光ホテル ベイスイート


ベイスイート　スーペリアスイート


ベイスイート　コンシェルジュラウンジ


志摩観光ホテル クラシック


クラシック　スタンダードツイン（改装前）


ラ・メール　クラシック（改装前）


ベイスイート　レストラン「ラ・メール」


クラシック　宴会場「真珠の間」（改装前）


鮑（あわび）料理


伊勢海老料理

日本を代表する建築家・村野藤吾氏が設計し、1951年4月、戦後初の純洋式リゾートホテルとして営業を開始し、皇族がご利用されたこともある、60年の歴史と格調あるホテルです。小説「華麗なる一族」に舞台として登場しました。2008年10月、新館「ベイスイート」が開業し、「クラシック」との2館で運営。（2016年春まで「クラシック」は耐震工事と改装のため休館中。）

海辺ホテル　プライムリゾート賢島


海辺ホテル　プライムリゾート賢島


海辺ホテル　プライムリゾート賢島（夕方）


客室

ホテル近鉄 アクアヴィラ伊勢志摩


ホテル近鉄 アクアヴィラ伊勢志摩


客室


ともやまの湯

ホテル志摩スペイン村


ホテル志摩スペイン村


客室


ひまわりの湯

賢島宝生苑


賢島宝生苑


華陽棟　客室


朝なぎの湯・夕なぎの湯

特集　あべのハルカス

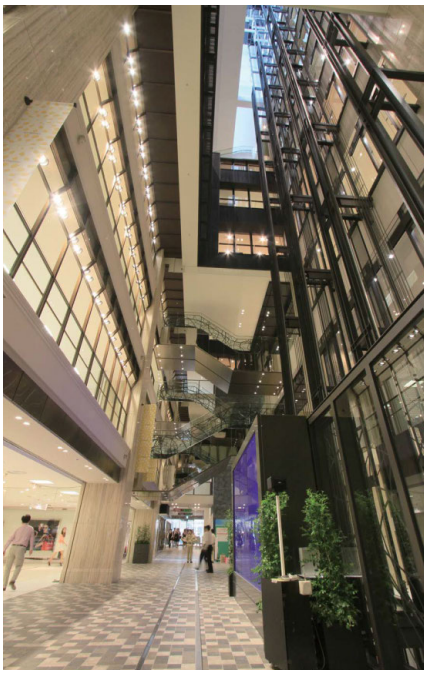

あべのハルカス

あべのハルカスは、近鉄「大阪阿部野橋駅」直上に、2014年3月にオープンしました。
超高層複合ビルとしては日本一となる300mの高さを誇り、あべのハルカス近鉄本店（百貨店）、オフィス、大阪マリオット都ホテル、あべのハルカス美術館、ハルカス300（展望台）等様々な都市機能を内包するビルとして、開業一年目は4,273万人のお客様にご利用いただきました。

ABENO HARUKAS



あべのハルカス近鉄本店（近鉄百貨店）


ウエルカムガレリア

大阪マリオット都ホテル


デラックスツイン

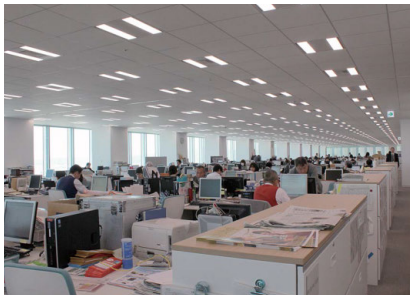
ハルカス300（展望台）


天上回廊の様子

あべのハルカス美術館


展示室内

オフィス


オフィス

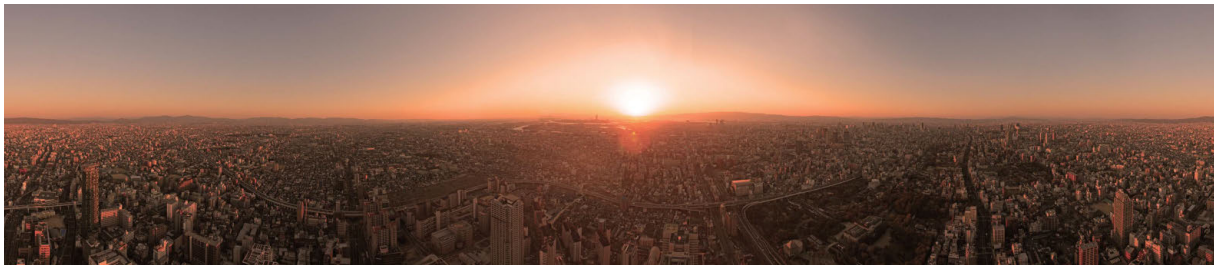
ハルカス300（展望台）　58F～60F

驚きと癒しの空間、「ハルカス300」

（展望台から見た、360度のパノラマ写真）



展望台からの景色（昼）



展望台からの景色（夕方）



展望台からの景色（夜）



展望台来場者数300万人達成（2015.5.16）



年間パスポート「ハルカス 300 プレミアムパス」



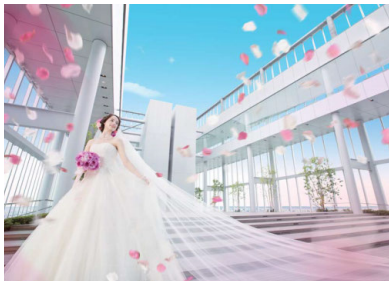
SKY GARDEN 300（カフェ）



あべのハルカス探検ツアー



ラジオ体操



ハルカスウエディング

I. 企業体制

1. CSR推進体制

近鉄グループ経営理念

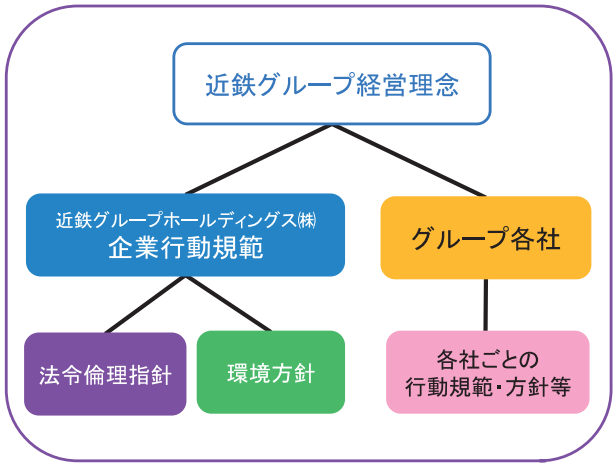
「いつも」を支え、「いつも以上」を創ります。

わたしたちは、誠実な企業活動により、暮らしの安心を支えます。
わたしたちは、果敢な挑戦により、新たな価値を創出します。
わたしたちは、多様な人々との協働により、社会に貢献します。

企業行動規範

企業行動規範
グループ各社の事業を通じて、お客様の満足度を高めます
グループ各社の自立と連携により、企業価値の増大を図ります
良き企業市民として地域社会の発展に貢献します
環境保全に真摯に取り組みます
法令を遵守し、高い倫理を保ちます
的確な情報開示を行い、経営の透明性を確保します
人権を尊重し、労使が協調する職場を作ります
反社会的勢力・団体とは一切の関係を持ちません

経営理念と企業行動規範の関係



当社は、近鉄グループ全体を包含する経営理念として「近鉄グループ経営理念」を定めるとともに、具体的な行動の拠り所となる、「近鉄グループホールディングス企業行動規範」を制定しています。

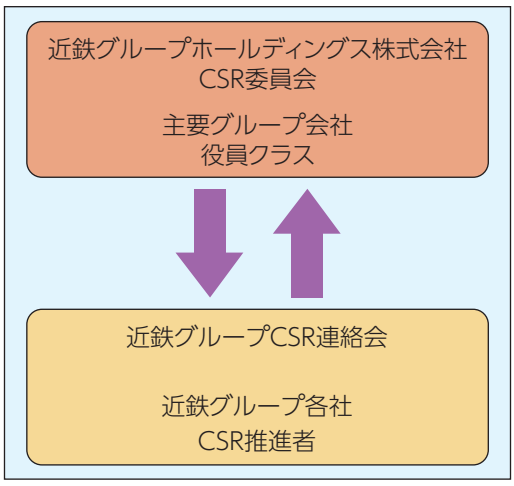
また、これらのもと、法令・企業倫理を遵守する「法令倫理指針」、環境にやさしい企業グループを目指す「環境方針」を定めています。

CSR委員会

CSR委員会では、近鉄グループホールディングス(株)社長を委員長とし、近鉄グループ主要会社の役員クラスが委員となり、社会的な責任を果たすために近鉄グループ各社の法令遵守・企業倫理に関する事項、安全や環境に関する事項について、諸対策の方針を策定し、グループ全体のCSR活動を推進します。

近鉄グループCSR連絡会

近鉄グループCSR連絡会は、CSR委員会で定まった方針を具体的に実施していくための会議で、グループ各社にCSR推進者を定め、目標の実現に向かって取組みを進めます。



2. コンプライアンス

法令倫理指針

法令や企業倫理の遵守に関する指針を制定しています。また、役員、社員に小冊子「法令倫理の手引き」を配布し、周知を徹底しています。

近鉄グループホールディングス株式会社は、法令や企業倫理の遵守に関する指針を以下のとおり制定します。

私たち役員・社員全員は、この「法令倫理指針」をよく理解して、その遵守に努めます。また、経営をあずかる役員をはじめ組織の各責任者は、「企業行動規範」や「法令倫理指針」の実効性を確保するため、率先垂範のうえ、常に社内体制の整備を心がけます。

1．法令遵守の徹底
2．厳正な情報管理
3．インサイダー取引の禁止
4．人権の尊重・差別の禁止
5．ハラスメントの禁止
6．反社会的勢力・団体との関係拒絶
7．会社財産の適切な取扱い
8．接待・贈答の節度
9．公正な取引関係
10．知的財産の適切な取扱い
11．業務運営の透明性確保

法令・企業倫理の遵守全般に関する体制

法令･企業倫理に則った企業行動を推進するため、「CSR委員会」を設置するとともに、各部署に法令倫理責任者および法令倫理担当者を置いています。

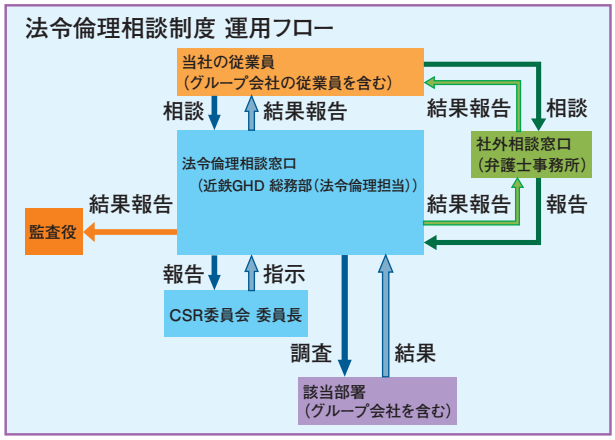
グループ会社の管理体制

グループ会社においてもコンプライアンス体制を確立し、適正な企業行動を推進しています。

・当社監査部および監査法人による外部監査
・常勤監査役設置会社の拡充
・当社監査部によるグループ会社監査の実施
・当社役員による連結子会社社長との定期面談によるモニタリング
・連結子会社に対するＩＴ統制
・連結子会社への経理、総務担当者の派遣
・グループ会社対象の法令倫理相談窓口設置(当社総務部および社外の弁護士事務所内)
・当社社員派遣による法令倫理研修の実施　など

法令倫理相談制度

法令・企業倫理や社内規程に反する行為を早期に発見し、是正するため、法令倫理相談窓口を社内および社外の弁護士事務所（委託）に設置し、当社およびグループ会社従業員からの通報や相談を受け付けています。



（2015年11月現在）

教育・研修の実施

役員から社員一人ひとりに至るまで、コンプライアンス意識向上を目的に様々な教育・研修活動を継続的に実施しています。

各規程類の確認のほか、法令の改正や不祥事の発生などのトピックを取り上げ、事例を交えた研修を行っています。

研修名	対　象
定期研修	当社社員
新入社員研修	当社新入社員
CSR講演会	本社役員、管理職 グループ会社役員
新任職場長研修	新任職場長
法令倫理責任者研修	新任法令倫理責任者


CSR 講演会

グループ会社への法令倫理研修支援

グループ全体としてのコンプライアンス意識の向上を図るため、法令倫理研修支援としてグループ各社に対してコンプライアンス研修資料を提供するほか、グループ各社を訪問し、グループ各社の事業内容･ニーズに応じた講義を行う出張研修支援も実施しています。

インサイダー取引の防止

役員は株式累積投資制度を、管理職は社員持株会を利用することを原則とし、役員、管理職による当社株式の売買は事前届出制としています。

反社会的勢力・団体との関係拒絶

反社会的勢力・団体との関係は一切持たず、不当な要求には毅然とした対応をとります。

個人情報保護方針

お客様からお預かりするなど、当社が取り扱う個人情報に関して「個人情報保護方針」を定め、ホームページに掲載しています。また、役員、社員に小冊子「個人情報保護の要点」を配布し、周知を徹底しています。

3. リスクマネジメント

リスク管理に関する基本方針

内部統制システムの適切な整備・運用を図ることによりリスクの軽減を図り、企業価値向上に努めています。

また、「財務報告に係る内部統制の評価及び監査」を義務付けた金融商品取引法に対応し、財務報告に係る内部統制の基本的計画および方針を決定しています。

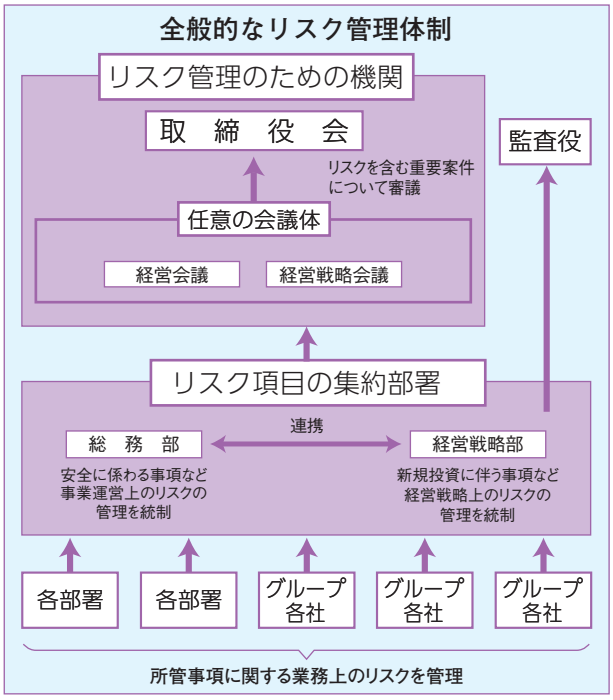
リスク管理規程

当社およびグループ会社における事業等のリスクを適切に管理するための基本的な事項を定めた「リスク管理規程」を制定しています。このリスク管理規程に基づき、事業等のリスクを確実に把握し、リスクの発生に対する予防およびリスクが発生した場合の損失拡大防止の観点から適切な対策を立案、実施するリスク管理を行います。

リスク管理機関

リスク管理規程では、取締役会、経営会議および経営戦略会議などをリスク管理機関と定め、リスク管理を行うこととしています。

事業ごとに洗い出されたリスクを全社的視点に基づき整理・集約し、「経営会議」等で、方向性や諸施策を審議し、リスク案件のうち重要な業務執行については、取締役会で審議し、決定しています。



(2015年6月現在)

異例事態対応規程

大事故、大地震などの大規模自然災害、大規模な火災、テロなどの第三者による破壊行為、新型感染症等、異例事態発生時には、その規模・状況に応じて、全社で異例事態に対応し、「対策本部」を設置することを「異例事態対応規程」に定めています。

近鉄グループ情報セキュリティ基本方針

企業活動におけるＩＴへの依存度が高まるにつれ、情報セキュリティ対策が重要性を増していることから、当社および子会社が近鉄グループとして必要な情報セキュリティ・レベルを維持するため、グループ共通で遵守すべき基本的な事項をまとめた「近鉄グループ情報セキュリティ基本方針」を制定しました。

近鉄グループ情報セキュリティ基本方針

近鉄グループは、保有するすべての情報資産を適切に維持管理するため、情報セキュリティの確保に取り組みます。

1. 情報管理
情報セキュリティ対策に関する役割と責任を明確にして管理体制を整備し、保有するすべての情報資産を重要性とリスクに応じて、適切に維持管理します。

2. 法令遵守
関連する法令、お客様との契約、本方針およびグループ各社が定める規程等を遵守します。

3. 技術対策
情報への不正なアクセス、情報の紛失、改ざん、漏えいおよび消失を防止するため、技術的・物理的な観点からセキュリティ対策を講じます。

4. 教育啓発
役員、社員、その他従業員に対して情報セキュリティに関する教育訓練を行い、自らの役割と責任を認識させると共に、情報セキュリティ対策の実施に必要な知識の習得と意識の向上を図ります。

5. 委託管理
業務を外部に委託する際には、委託先に本方針を周知し、近鉄グループと同等のセキュリティレベルを維持するよう要請していきます。

6. 事故対応
万一、情報セキュリティ上の事件または事故が発生した場合、迅速に対応して被害を最小限にとどめると共に、その再発防止に努めます。

7. 維持改善
情報セキュリティ対策を運用状況、環境の変化などに応じて見直し、情報セキュリティの維持と継続的改善に努めます。

BCP（事業継続計画）

異例事態に対応できる能力の向上を目指し、ＢＣＰ（事業継続計画）を策定しています。異例事態発生から、通常業務に復旧するまでに行う業務の優先順位と手順等を、あらかじめ整理し、迅速な事業復旧を目指すものです。

DBJ　BCM格付の最高ランク取得

2015年3月、（株）日本政策投資銀行（ＤＢＪ）が実施する、BCM（事業継続管理）格付において、「防災及び事業継続への取り組みが特に優れている」と、3年連続で最高ランクを取得しました。BCM格付とは日本政策投資銀行が企業の防災・事業継続の取り組みを評点化し、優れた企業を選定するものです。

DBJ BCM格付 2014

当社は、2015年3月日本政策投資銀行(DBJ)の『DBJ BCM格付』において「防災及び事業継続に対する取り組みが特に優れている」と評価されました。

4. コーポレートガバナンス／内部統制

(1)コーポレートガバナンス

社会の信頼を得るため透明度が高く公正な経営体制を構築することが重要な課題であると考え、コーポレートガバナンスの充実を図っています。

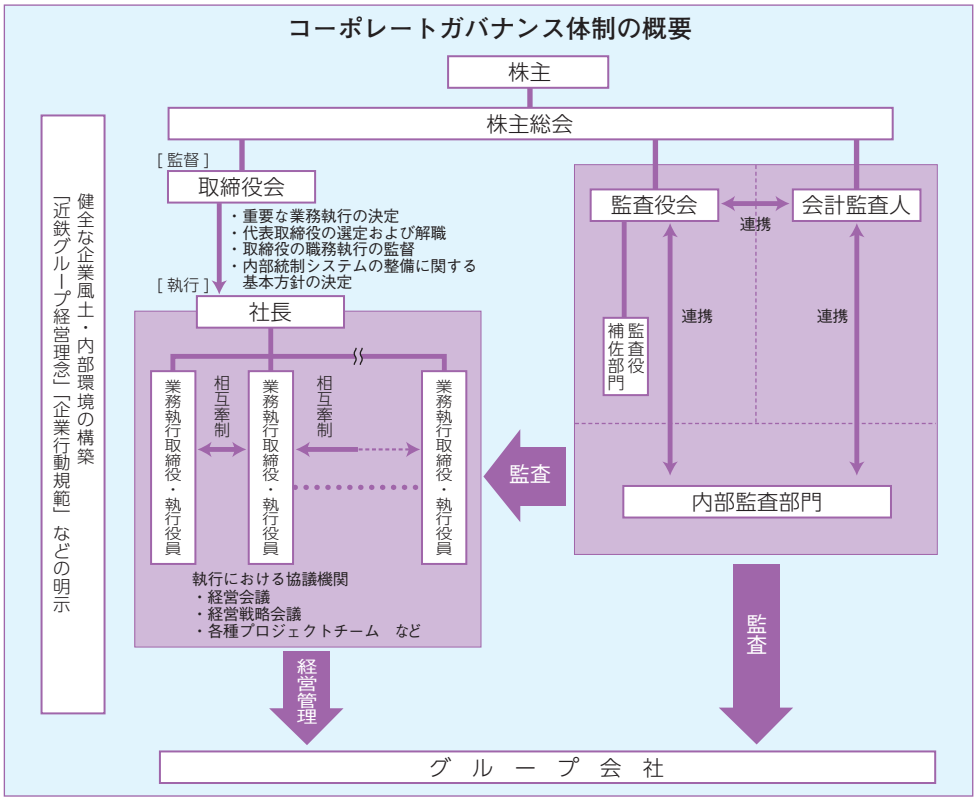
取締役

当社の取締役は17名ですが、そのうち4名は当社と特別の利害関係のない社外取締役、4名は主要な事業子会社の社長である非常勤取締役、9名は常勤取締役であり、幅広い見地から示される意見を経営に反映させるとともに、経営監督機能の強化を図っています。さらに、取締役任期の1年への短縮、取締役および監査役に対する退職慰労金制度の廃止、執行役員制度の導入などの諸施策を実施し、経営責任の明確化と経営の効率化に努めています。

取締役会は、原則として毎月1回開催し、重要な業務執行を決定するとともに、業務執行取締役および執行役員による業務執行の状況を監督しています。

監査役

当社の監査役は5名ですが、そのうち3名が社外監査役であり、監査の厳正、充実を図っています。監査役会は原則として毎月1回開催し、監査の基本方針等を決定するとともに、各監査役が実施した日常監査の結果を報告し監査役間で意見の交換等を行っています。



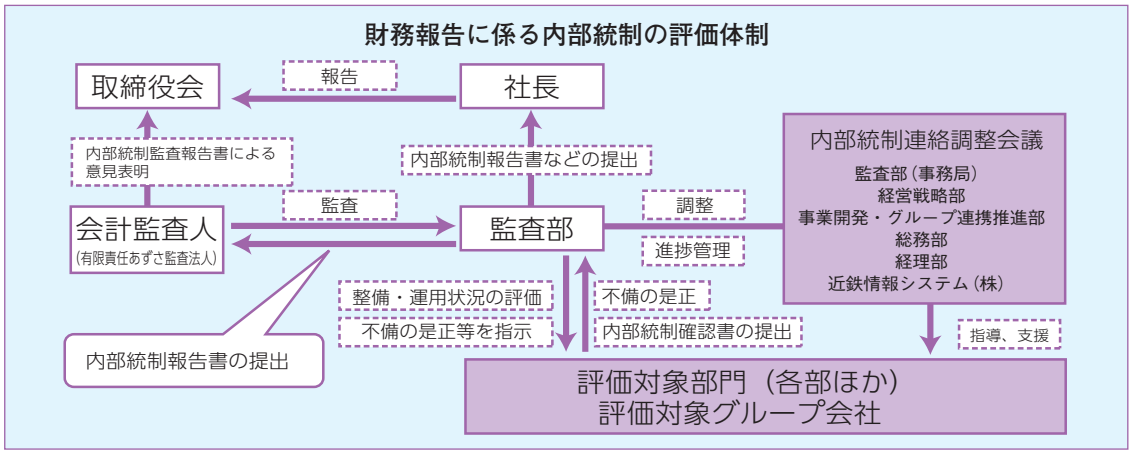
(2015年6月現在)

(2)内部統制

会社法に基づき、業務の適正を確保するために必要な体制（いわゆる内部統制システム）の整備に努めています。

金融商品取引法に基づく財務報告

金融商品取引法に基づく財務報告に係る内部統制については、財務報告を法令等に従って適正に行うことの重要性を十分に認識し、必要な体制等を適切に整備、運用しています。



(2015年6月現在)

5. 人材活用

人権啓発

人権・同和問題について、以下のとおり基本方針を定めています。

1. 個人の尊厳を保障し、公正で差別のない明るい職場、社会をつくるために努力することは企業の社会的責任であることを認識し、人権・同和問題の完全解決をめざした計画的、組織的な研修と実践を全社を挙げて推進する。
2. すべての社員が人権と差別についての正しい理解と認識を確立し、一人ひとりが、人権・同和問題の解決を自らの課題として主体的にとらえ、「差別をしない、させない、許さない」取り組みを力を合わせて推進するように努める。

上記方針に基づき、同和問題をはじめとしたあらゆる人権・同和問題に対し、社内に労使共同で人権・同和教育推進委員会を設置し、計画的、体系的に取り組んでいます。

入社時やキャリアアップ時だけでなく、役員、管理職にも人権研修を実施しているほか、養成教習を受けた人権・同和教育指導員を各職場単位に配置し、積極的に人権教育を推進しています。

人材育成・教育について

社会に貢献する企業であり続けるためには、社員一人ひとりの能力の向上が不可欠であり、企業行動規範を実践できる人材を育成すべく計画的に研修を実施しています。

具体的には、新入社員から部長までの階層別研修、近鉄グループ会社による合同研修、他社との異業種交流研修や自衛隊生活体験研修などを行っています。



自衛隊生活体験研修

人事制度

昇進や賃金制度をはじめとする人事制度は、昇進時に社内試験を課すなど公平な基準により評価し、社員の働きがいややる気を最大限引き出せるよう、整備・運用を行っています。

女性の活躍推進に向けた取組み

女性の視点を活かした経営が今後ますます重要になるとの観点から、女性の活躍を推進する取組みを進めています。採用、配置、昇進などの局面においては、性別にかかわらず実力や成果に応じた評価を行っています。また、女性をはじめとする多用な人材の活躍が企業の持続的成長には不可欠であり、女性従業員に関する施設や法定以上の産前産後休暇、育児・介護休業といった、育児・介護に関する制度の充実にも取り組んでいます。

女性社員数

鉄　道

近畿日本鉄道（株）は、2015年3月末日現在、社員7,975人中273人の女性社員を雇用しています。

女性社員数（近畿日本鉄道（株））

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
女性社員	251名	254名	252名	266名	273名

休暇取得の推進

鉄　道

近畿日本鉄道（株）では、2014年度の年次有給休暇の付与日数に対する取得率は85.2％で、一般的な取得率（48.8％）（厚生労働省「平成26年就労条件総合調査」）よりも高い水準にあります。

また、期間内に使用されなかった年次有給休暇を30日分まで積み立て、配偶者の出産時、育児、子の看護、介護などを目的として使用することができる休暇制度も設けています。また、ボランティア休暇制度も設けています。

育児休業・介護休業取得者数（近畿日本鉄道（株））

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
育児休業	11名	6名	9名	8名	19名
介護休業	2名	1名	1名	0名	1名

※近畿日本鉄道（株）では、法定を上回る期間の育児休業・介護休業制度を設けており、育児休業は子が小学校就学の始期に達するまで、介護休業は1年まで取得できます。

フレックスタイムの導入

本社等においては、勤務時間を柔軟に設定できるよう、フレックスタイムを導入しています。コアタイム（11時10分～16時）の勤務を義務付け、前後の時間は1ヶ月単位で各々で管理します。

ノー残業デー

本社ほか事務所においては、毎週水曜日をノー残業デーにしており、仕事の効率を高めるとともに、仕事に対する意識を向上させるための取組みも行っています。

セクシュアルハラスメント相談窓口

法令倫理相談窓口のほか、人事部に相談窓口を設置して社員の声を聞き、適切な対応が取れる体制を整えています。

採用・人材確保について 鉄　道

近畿日本鉄道（株）では、鉄道事業の最大の使命である安全を確保するために、誠実に仕事に取り組み、強い責任感・使命感を持った人材の採用を行っています。また、必要な人材を安定的に確保するため、新卒採用の他に契約社員採用も行っており、2014年度の採用者数は、新卒社員127名、契約社員25名となっています。（※近鉄グループホールディングス（株）が採用を開始するのは、2016年4月の予定です。）

採用者数（近畿日本鉄道（株））

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
新卒社員	171名	136名	62名	91名	127名
契約社員	31名	0名	30名	44名	25名
計	202名	136名	92名	135名	152名

障がい者の雇用 鉄　道

近畿日本鉄道（株）では、2015年3月末日現在、障がい者雇用率は2.11%（年度平均）で、法定雇用率を上回っています。

健康保持対策 鉄　道

定期健康診断の結果に基づき、産業医の指導のもと、生活習慣の改善にも取り組んでいます。また職場に禁煙デー・禁煙タイムを設ける等の取組みも推進しています。

BCS賞を受賞（近鉄不動産（株））

近鉄不動産（株）が運営する「あべのハルカス」が、2015年7月、一般社団法人日本建設業連合会より、「第56回（2015）BCS賞」の受賞が決定しました。

BCS賞は、共用開始後1ヵ年を経過した建物に対して、事業計画、計画・設計、施工、環境および建築物の運用・維持管理等に関する総合評価に基づいて選考され、建築主、設計者、施工者の三者を対象に贈られます。



あべのハルカス



表彰式

労働安全衛生の整備 鉄　道

労働安全及び労働衛生の管理方針を各職場に掲げ、社員が一丸となり労働安全衛生に積極的に取り組んでいます。

社員一人ひとりに事故や労働災害がなく、健康で明るく生き生きと働ける職場環境を作ることが、お客様へのよりよいサービスの提供につながるものと考え、「やってはいけないことをやった場合、どのような事態になるか」を擬似体感する訓練をはじめ、実地訓練等を通じて基本動作の習得に努め、労働災害ゼロ職場を目指しています。

メンタルヘルス対策

毎年、ストレスチェックを実施し、社員が自分自身のストレスの状況の把握と、ストレスに対する強さを測り、結果とアドバイスに基づいた学習により、個人のストレス耐性の向上を図っています。また、定期的にメンタルケアの研修会を実施するほか、相談窓口を設置して社員の声を聞き、適切な対応がとれる体制を整えています。

労働組合との関係 鉄　道

労使の絆を大切にしながら、会社の発展と、従業員が意欲を持って仕事に取り組める労働条件の構築や、職場環境の整備に向けてさまざまな取組みを進めています。

会社・労働組合・健康保険組合共催による「潮干狩り」や「みかん狩り」「梨狩り」等のイベントを開催し、社員や家族の親睦を図っています。



潮干狩り



クリーンキャンペーン（梨狩り場まで沿道のゴミを拾います）

Ⅱ. 事業紹介

近鉄グループは鉄道を中心に、バス・タクシー、物流、海運、自動車道・ロープウェイ・レンタカー、不動産、流通、飲食、ホテル・旅館、旅行、遊園地、ゴルフ場、製造・建設、サービス、情報通信・介護・保険など、幅広い事業活動をおこなっており、沿線のみなさまの生活に密着したサービスをご提供いたします。

1. 運輸事業

近畿日本鉄道(株)



伊勢志摩ライナー

伊賀鉄道(株)



忍者列車

養老鉄道(株)



薬膳列車

近鉄バス(株)



2階建オープンデッキバス

奈良交通(株)



ハイブリッドバス

防長交通(株)



路線バス

三重交通(株)



ハイブリッドバス

名阪近鉄バス(株)



デラックス観光バス「浪漫Ⅱ」

近鉄タクシー(株)



EV タクシー

近鉄エクスプレス(株)



アムステルダム倉庫とトラック

別府ロープウェイ(株)



ロープウェイ

国道九四フェリー(株)



シャトル豊予

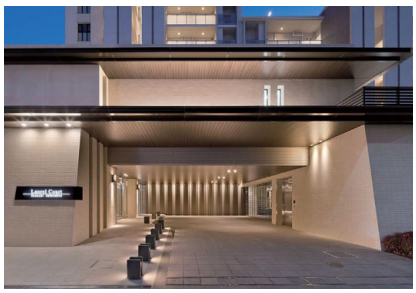
2. 不動産事業

近鉄不動産（株）

沿線を中心にこれまで多くの住宅やマンションを分譲しているほか、オフィスビル・商業施設・賃貸住宅・高架下店舗・駐車場等を経営しています。


ローレルスクエア学園前


ローレルスクエアあやめ池


ローレルスクエア茨木新中条


近鉄学研奈良登美ヶ丘住宅地


近鉄あやめ池住宅地


ローレルアイ白金


近鉄堂島ビル



近鉄難波ビル



パラディ学園前

三交不動産（株）

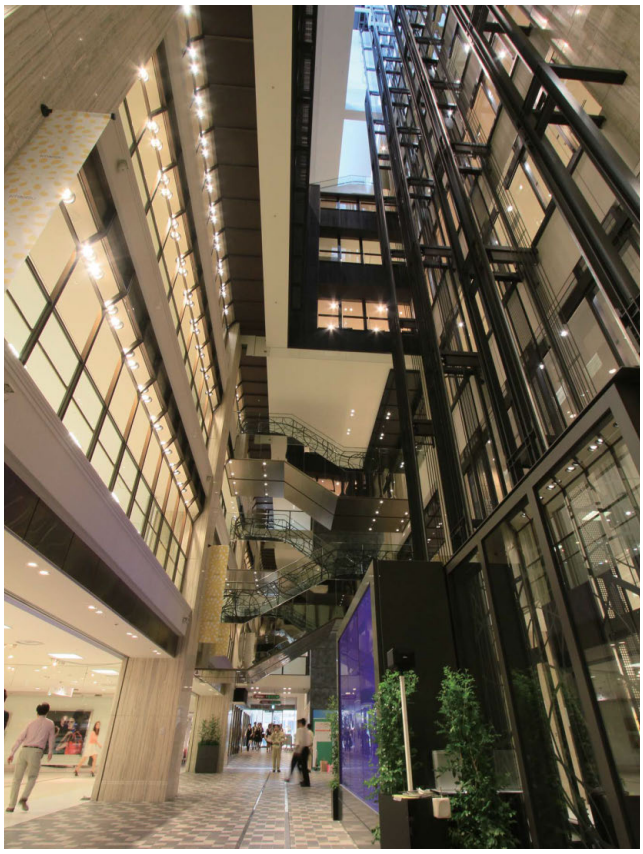

津三交ビルディング


鈴鹿ラッツ


プレイズ浦和常盤公園

3. 流通事業

(株)近鉄百貨店



あべのハルカス近鉄本店 ウエルカムガレリア



あべのハルカス近鉄本店



あべのハルカス近鉄本店 売場

(株)近鉄リテーリング



Time's Place 西大寺



ファミリーマート近鉄桜井駅前店



刈谷ハイウェイオアシス

(株)近商ストア



スーパーマーケット KINSHO 大和高田店



スーパーマーケット Harves 五位堂店

(株)三交シーエルツー



東急ハンズ桑名店

4. ホテル・旅館事業

(株) 近鉄・都ホテルズ

「都ホテルズ&リゾーツ」のブランドで国内外 24 ホテル・旅館を展開しています。
2014 年 3 月開業の「あべのハルカス」内にオープンした「大阪マリオット都ホテル」をはじめ、「シェラトン都ホテル東京／大阪」「ウェスティン都ホテル京都」は、海外ホテルチェーンと提携しています。

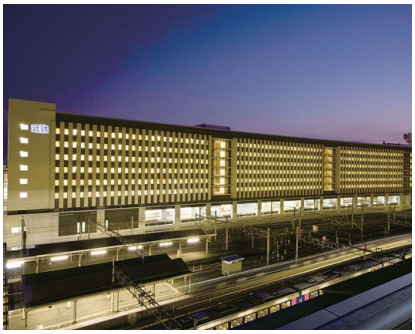

シェラトン都ホテル東京


ウェスティン都ホテル京都


シェラトン都ホテル大阪


大阪マリオット都ホテル


ホテルスタッフ


ホテル近鉄京都駅


志摩観光ホテル ベイスイート


沖縄都ホテル

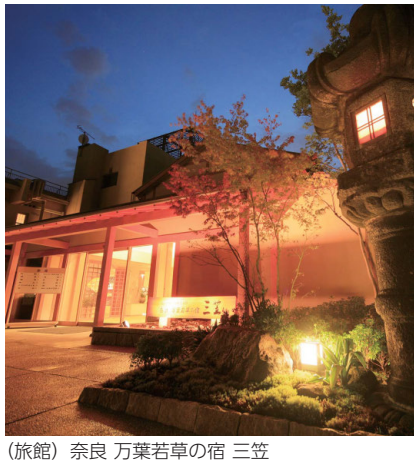


新・都ホテル

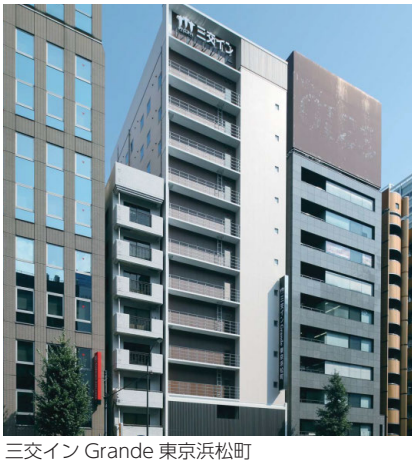
(株) 賢島宝生苑


賢島宝生苑

(株) 近鉄旅館システムズ


(旅館) 奈良 万葉若草の宿 三笠

(株) 三交イン


三交イン Grande 東京浜松町

5. レジャー事業・サービス事業

近畿日本ツーリスト（株）



国際会議イメージ

近畿日本ツーリスト個人旅行（株）



店舗

クラブツーリズム（株）



ツアーの様子

（株）志摩スペイン村



志摩スペイン村エンターテイナー集合

（株）海遊館



海遊館

近鉄レジャーサービス（株）



生駒山上遊園地

賢島浜島ゴルフ場（株）



近鉄賢島カンツリークラブ

飛鳥ゴルフ（株）



飛鳥カンツリー倶楽部

志摩マリンレジャー（株）



賢島エスパーニャクルーズ

近畿車輌（株）



車両部品の製造

奈交自動車整備（株）



バス・自動車の整備

6. 文化事業

あべのハルカス美術館

誰もが気軽に芸術・文化を楽しめる「都市型美術館」として、2014年3月に開館しました。近鉄沿線の文化財をはじめ、日本・東洋美術、西洋美術、現代アートまで、多彩な展覧会を開催しています。



あべのハルカス美術館

大和文華館

東洋美術および関係諸文化に関する資料を収集・展示し、その研究にも力を入れている大和文華館では、講演会や、小学生から高校生を対象とした鑑賞教育、大学の博物館実習等、教育普及活動も実施しています。



大和文華館

松伯美術館

日本画家上村松園・松篁・淳之三代にわたる作品を中心に、美術作品の収集および一般公開を行っています。

また日本画に取り組む若手作家の育成を図るための公募展も開催しています。



松伯美術館

近畿文化会

文化財愛護の心を養い、歴史的知識を高めるため専門講師の執筆による月刊の文化冊子『近畿文化』を発行しています。また、近畿地方を中心に、史跡、古社寺などの文化財を訪ねる臨地講座を毎月2回以上開催しています。

大和文化会

首都圏においても近鉄沿線の魅力を発信するため、東京地区において、奈良大和路の歴史・文化を紹介する月例講演会・公開講座等を開催しています。

旅の文化研究所

「旅の文化」について、その質的向上を目的とし、人間的、学際的、国際的な立場から調査・研究し、季刊誌「まほら」の発行など、出版や講演活動を行っています。

7. スポーツ事業

近鉄ライナーズ

近鉄ラグビー部「近鉄ライナーズ」がジャパンラグビートップリーグで活躍し、2014年度は12位でした。

1929年に創部し80余年の伝統を誇り、日本選手権を過去3度制覇し日本一に輝きました。



近鉄ライナーズ



試合の様子



試合の様子

Ⅲ. お客様・地域とともに

事業を通じて、お客様および沿線地域の発展と幸福に寄与するために、より良いサービスを提供し、
沿線の魅力を高め、沿線の繁栄に貢献してまいります。

1. より良いサービス提供のために

お客様の声システム（ご意見・ご要望・お問い合せ）

ご意見・ご要望・お問合せをホームページからお寄せいただけます。

（「お客様の声」2014年度　受理件数7,782件）

「お客様の声」年度別推移

	ご意見・ご要望	ご褒詞	お問い合わせ	計
2010年度	4,507件	93件	875件	5,475件
2011年度	4,867件	124件	874件	5,865件
2012年度	6,309件	252件	1,258件	7,819件
2013年度	5,698件	305件	1,764件	7,767件
2014年度	5,853件	297件	1,632件	7,782件

（「ご意見・ご要望」の主な内容）

お客様の声（ご意見・ご要望）	2014年度	2013年度
鉄道応対　（接客、空調操作など）	1,336件	1,281件
鉄道営業　（ネット予約、企画券、放送など）	1,130件	1,075件
鉄道運転　（ダイヤ、定刻運転、異例時対応など）	1,069件	1,058件
鉄道設備	641件	560件
鉄道環境　（タバコなど）	495件	445件
鉄道マナー	370件	370件
鉄道その他	177件	135件
グループ	234件	317件
本社・その他　（ホームページなど）	401件	457件
計	5,853件	5,698件

（グループ内訳）

お客様の声（ご意見・ご要望）	2014年度	2013年度
バス	53件	42件
駅ナカ・売店	50件	76件
車内販売	18件	29件
不動産	18件	15件
百貨店	17件	16件
レジャー施設	13件	15件
タクシー	12件	11件
鉄道(伊賀・養老・あすなろう)	5件	4件
ホテル・旅館	3件	46件
旅行	2件	3件
飲食	1件	8件
グループその他	42件	52件
計	234件	317件

お客様から頂いたご意見・ご要望に対しては、お客様の声を「お客様視点」で分析して組織横断的に検討し、効率的にサービス改善を進めていくことで、より一層お客様にご満足いただけるサービスを提供していきたいと考えています。また、担当部署より回答した内容は、社内ネットに公開され、役員をはじめ本社部門の全社員、現業職場の監督者が閲覧でき、情報を共有し、サービス向上への取り組み・教育や、施設改良への取り組み等に活用しています。

お客様の声をもとに改善した事例

鉄　道



優先座席付近での携帯電話の電源切りは時代遅れではないか

2013年1月に、「携帯電話が心臓ペースメーカーに与える影響は小さい」として総務省が距離指針を22センチから15センチに緩和したことを知りました。携帯電話がペースメーカに影響を及ぼした例は一度も報告されていないとのことです。従って、「優先座席付近では電源をお切りください」は時代遅れですので取りやめることを期待しています。



これまで車内での携帯電話のマナーとして、優先座席付近では終日、携帯電話の電源をお切りいただくようご案内しておりましたが、総務省の指針の改正や、緊急地震速報など、携帯電話が非常時の伝達手段となっているなどの実態を踏まえて、2014年7月1日以降、当社をはじめ関西の鉄道事業者25社局で揃って、「優先座席付近では、混雑時には携帯電話の電源をお切りください」とご案内を変更しました。



お客様からのおほめの言葉（ご褒詞）

鉄　道
グループ



理由があって小学生の子供2人だけで近鉄名古屋駅～大阪難波駅までアーバンライナーに乗せました。私は大阪難波駅で待っていたのですが、子供は乗っていませんでした。子供には携帯も持たせていなかったので、とても不安になったのですが、大阪難波駅の駅員さんは、途中停車した駅に電話連絡をし、無事、子供たちを大阪上本町駅で確保してくれました。駅員さんにはご迷惑をおかけしたにも関わらず、笑顔で親切丁寧に対応してくださり、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。子供を迎えにいった大阪上本町駅でも、ホームまで連れて来てくださっていて、笑顔で子供たちを褒めてくださいました。本当にありがとうございました。

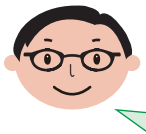
しまかぜアテンダントへのおほめの言葉



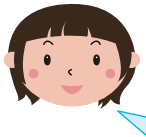
大阪阿部野橋駅から準急に乗っていた時、ご老人が車掌さんに「二上山駅に行きたいので、古市駅での乗換を調べてほしい」と問合せをしていました。車掌さんがご老人に幾つかの質問をすると、ご老人は二上山は登山へ行こうとしていたのです。車掌さんは「登山でしたら二上山駅ではなく当麻寺駅が登山口に近くて便利ですよ」と古市駅での乗り継ぎを案内されたのです。その車掌さんの機転や知識量の豊富さで、ご老人のニーズに応じた案内をしたことは、私の目には大変なファインプレーに見えました。



いい駅員さんに出会いました。私達は宇治山田駅で大阪上本町行き特急電車に乗ろうと待っていましたが、ホームを間違えていました。放送に気が付き、乗車しようとした特急は発車寸前でしたが、駅員さんに足の悪いことを告げ、「どうしてもその列車に乗りたい」と話すと、すばやく車掌さんに「ご年配のご夫婦が乗車されるのでしばらく発車を待ってください」と連絡して、我々を誘導してくださいました。おかげでいい旅行ができました。ありがとうございました。



葬儀の帰りに近鉄名古屋駅から特急に叔父夫婦と乗りました。近鉄名古屋駅発車後、車掌さんに「叔父は左足が悪く、白子駅で降りるのに時間がかかるので、よろしくお願いします」と頼んで、私達は近鉄四日市駅で降りました。白子駅に近づいた時に車掌さんが叔父夫婦の所まで来ていただき「白子駅で降りる時に慌てなくてもいいですよ。お客様が降りられるまで発車させませんので、ゆっくり降りてくださいね」と言われ、その方が出口まで案内していただき、無事に降りることが出来たと喜んでおりました。その車掌さんの名前はわかりませんが、くれぐれもよろしくお伝えください。



朝早く大阪を出発し、「大黒屋光太夫記念館」に行きました。帰りに伊勢神宮を回り、松阪駅から大阪に戻るというハードスケジュールでした。あいにく、当日は朝から凄い雨でしたが、伊勢若松駅の駅員さんに、とても親切にして頂きました。記念館までのタクシーや、宇治山田駅から内宮行きのバス、伊勢市駅下車後の外宮前への行き方などを教えて頂きました。また、駅前の大黒屋光太夫像の前で写真を写そうとしたらトラックが止まっていたのですが、駅員さんが工事業者さんに連絡してくれて車を移動してくれました。駅員さんの対応が今回の旅の心暖まる思い出となりました。



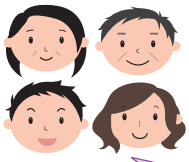
近鉄百貨店上本町店12階「ソラーレ・ドーノ」で食事をさせていただきました。店員さんの○○さんという女性は非常に笑顔が美しく、心遣いが細やかで「おもてなし」の心がよく伝わって来ました。50歳代後半の私にまでも本当に丁寧に接していただき、清々しい思いでした。また寄せていただきます。



本日、京都駅発着のしまかぜを利用させていただきました。非常に心に残る旅をご提供いただきました。その中で、○○様とおっしゃる社員の方には、行きはカフェ席の案内で、帰りは和風個室までの配膳で、心からお気遣いいただき、非常にお世話になりました。また、□□様とおっしゃる女性クルーの方も不慣れさはありましたが、非常に心地よい接客をしていただきました。本当にありがとうございました。妻や子供たちも非常に喜んでおりました。これからも心地よい旅をご提供ください。



特急「しまかぜ」に乗車しました。アテンダントの方の接客対応や笑顔、きめ細やかなサービスが素晴しかったです。今まで色々な鉄道会社の特急に乗り、色々なアテンダントを見てきましたが、「しまかぜ」のアテンダントは群を抜いています。本当に素晴らしい旅ができました。



家族4人でお伊勢参りに行くために、京都駅から「しまかぜ」の和風個室を利用しました。その際のスタッフの方に「今日は母の誕生日祝いなんです」と世間話をしたところ、他のスタッフが来られたときに「お誕生日おめでとうございます」と声をかけてくださいました。また、母がカフェ車両のレジに行った際も別のスタッフが同じようにお声をかけてくださり、母はとても喜んでおりました。今回の旅で「しまかぜ」のスタッフの皆さんの明るさや優しさに触れ、近鉄電車がとても好きになりました。





しまかぜアテンダント

2. 受賞・表彰等

海外旅行の顧客満足度、総合順位1位を獲得 KNT-CT

近畿日本ツーリスト個人旅行(株)は、オリコン(株)が発表した「顧客満足度ランキング2015年度版」において、旅行会社(海外旅行)部門で総合順位1位となりました。過去1年以内に旅行会社の窓口で海外旅行の申し込みをした18歳以上の男女を対象にアンケートを実施したもので、項目別では「予約・申込のしやすさ」「窓口スタッフの対応」等で1位となり、年代別では40代で1位となりました。



トロフィー

「楽天トラベルアワード2014」で「お客さまの声大賞」受賞 グループ

2015年2月、(株)近鉄旅館システムズが運営する料理旅館「奈良・春日奥山 月日亭」が、「楽天トラベルアワード2014」において、「お客さまの声大賞」を受賞しました。世界遺産に登録されている春日山原始林に囲まれた希少な立地と、宿泊は1日3組限定の、心のこもったおもてなしが人気です。



表彰式

グッドデザイン賞3年連続受賞 不動産

近鉄不動産(株)は、実験集合住宅NEXT21 501住戸「プラスワンの家」について、公益財団法人日本デザイン振興会主催の2015年度グッドデザイン賞を受賞しました。2014年度の「ローレルスクエア学園前」および「ローレルアイ白金」、2013年度の「ローレルアイ恵比寿ピアース」に引き続き今回の受賞で3年連続の受賞となります。 今後も高品質で、デザイン性および機能性の優れたマンションの開発に取り組み、「ローレルマンションシリーズ」ブランドの品質およびブランド力の向上に努めます。


プラスワンの家

プロが選ぶ優良観光バス30選 グループ

名阪近鉄バス(株)は、(株)旅行新聞新社が主催する、第24回「プロが選ぶ優良観光バス30選」において、全国第3位に選ばれました。この賞は、全国の旅行会社が、車両や設備のハード面をはじめ、ドライバーやバスガイドの運転技術、接客応対といったソフト面、さらには安全面での取組み等、さまざまな選考基準によって優良観光バス会社に投票するものです。名阪近鉄バス(株)は、10年連続30選に入賞しています。

優秀バスガイド受賞 グループ


優秀バスガイド

名阪近鉄バス(株)のバスガイドが、(株)旅行新聞新社が主催する、「第13回優秀バスガイド」を受賞しました。この賞は、全国の旅行会社が、技能面等の高い、特に評判の良いバスガイドに投票し、選出するものです。

優秀バスドライバー受賞 グループ


優秀バスドライバー

名阪近鉄バス(株)のバスドライバーが、(株)旅行新聞新社が主催する、「第2回優秀バスドライバー」を受賞しました。この賞は、全国の旅行会社が、技能面等の高い、特に評判の良いバスドライバーに投票し、選出するものです。

「百貨店プロセールス資格制度」の取得審査(2級)で全国1位 百貨店

百貨店協会が創設した百貨店業界共通の販売資格制度「百貨店プロセールス資格制度」の「フィッティングアドバイザー(レディス2級)」の2014年8月の審査会において㈱近鉄百貨店の四日市店の販売員が最優秀販売員(全国1位)に選出されました。また、同制度の「ギフトアドバイザー2級」の2015年2月の審査会において、あべのハルカス近鉄本店の販売員が最優秀販売員(全国1位)に選出されました。


最優秀販売員


最優秀販売員

3. お客様への情報発信

ホームページ

近鉄グループホールディングス(株)ホームページでは、近鉄グループのニュースリリースや、近鉄グループ情報、株主・投資家情報、CSRの取組みなどを紹介しています。
http://www.kintetsu-g-hd.co.jp



ホームページ

広報ポスター

2015年度は、お客様が普段目にする機会がないところでも、「近鉄の技術力」がお客様の日常を裏側で支えていることを伝えたいという思いを込めて、共通コピーを企業理念でもある『「いつも」を支え、「いつも以上」を創ります。』とした広報ポスターを製作しています。

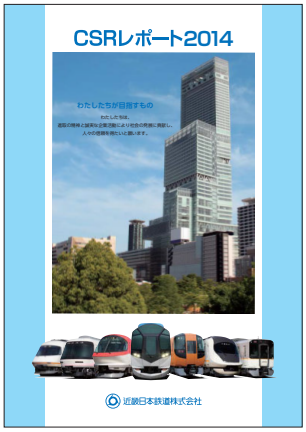


広報ポスター（基盤検査）

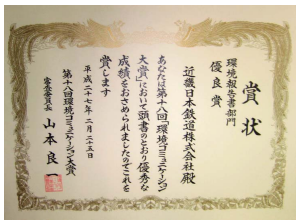
CSRレポート

近鉄グループの取組みをまとめており、2010年より年1回発行しています。当社ホームページで公開しています。

「CSRレポート2014」が、環境省主催の「環境コミュニケーション大賞」で「優良賞」を受賞しました。



CSR レポート



表彰状

情報開示

証券取引所が規定する開示規則に則り、必要な情報開示を適時に実施しています。

また、「決算短信」「近鉄グループ経営計画」などのIR情報や株主優待など、株主・投資家の皆様に必要な情報を当社ホームページに掲載しています。
「近鉄グループホールディングス ホームページ」
http://www.kintetsu-g-hd.co.jp



事業活動のご報告

株主総会

2015年6月25日に、シェラトン都ホテル大阪において、第104期定時株主総会を開催し、2,748人の株主様のご出席をいただきました。

株主優待制度

当社の株式を1,000株以上お持ちの方に、年に2回の優待を実施しています。株数に応じた乗車券や近鉄沿線の観光施設の割引券、近鉄百貨店割引券などを配布し、沿線の魅力を株主の皆様に紹介する等、優待制度により当社のファンとなる株主を増やし、株式の長期保有を促進しています。

近鉄グループロケーションサービス グループ

当社グループの認知度とイメージ向上を図るため、近鉄グループのネットワークを最大限に生かしたロケーションサービスを実施しています。映画やテレビ番組、CMなどの撮影において、近鉄グループの駅や列車内、ホテルや旅館、テーマパーク、商業施設、バス等を撮影場所としてご提供します。


鉄道施設でのバラエティ番組撮影風景

4. 鉄道事業の取組み

お客様の立場に立ち、お客様が本当に求める商品とサービスの提供につとめます。(近畿日本鉄道(株)の取組みです。)

駅・車両のバリアフリー化　鉄　道

沿線の主要駅では改札口からホームまでの段差を解消し、円滑に移動できるようにエレベーターおよびスロープ等の整備を進めています。これらは「バリアフリー法」に基づいて行っています。

駅を快適にご利用いただけるように　(2015年3月31日現在)

施設および設備	設置状況	備　考
車いす対応トイレ	147駅	
うち多機能トイレ	120駅	

車いす利用の方をはじめ、全てのお客様がスムーズに移動できるように

施設および設備	設置状況	備　考
エレベーター	112駅	全327駅のうち282駅で、駅構外からホームまで段差なしで移動できます。
エスカレーター	83駅	

目の不自由なお客様が安全に利用いただけるように

施設および設備	設置状況	備　考
誘導チャイム	94駅	このほか階段手すりへの点字シールの設置も進めています。

耳や言葉の不自由なお客様のために

施設および設備	設置状況	備　考
FAXサービス	21駅	主要な駅営業所等で取り扱っています。

(注)各項目とも、鋼索線駅(6駅)を除く全327駅(伊賀線、養老線を含む)を対象。

・2014年度の取組み

・桑名駅、川原町駅、大阪教育大前駅、河内天美駅にエレベーターを設置
・桑名駅において多機能トイレ(オストメイト対応型)化
・車両内の車いすスペースの設置

上記のほか、車両連結部転落防止用注意放送装置、車両案内表示などを追設しています。



桑名駅　エレベーター

トイレの改修　鉄　道

お客様からのご意見やご要望に対応するため、順次計画的に改修しています。

2014年度は、近鉄丹波橋駅他10駅を改修しました。



近鉄丹波橋駅　トイレ

駅ナンバリング　鉄　道

2015年8月より、駅ナンバリングを全線で実施しています。各駅のホーム駅名看板等に、路線ごとに色分けして順次表記を進めています。



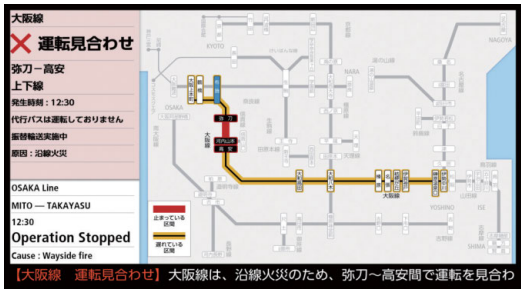
駅名看板(大阪難波駅)



駅名看板(大阪難波駅)

液晶ディスプレイの運行情報等をマップ表示に　鉄　道

2015年3月から、駅改札付近に設置している液晶ディスプレイの表示を、文字表示からマップ表示へと変更しました。これにより、運転見合わせ区間や遅延・振替路線などの情報をお客様にわかりやすく提供します。液晶ディスプレイ設置駅は30駅(2015年9月現在)です。



液晶ディスプレイの運行情報

駅係員と乗務員の制服を変更　鉄　道

2014年3月に駅係員と乗務員の制服を一新しました。



新制服

旅客案内テレフォンセンター　鉄　道

近鉄電車の運賃や列車時刻、催し物、忘れ物などのお問い合わせを承ります。

電話(大　阪)06-6771-3105
(名古屋)052-561-1604
8:00～21:00(年中無休)(2015年10月1日現在)

ICカードサービス　鉄　道

近鉄線では、生駒鋼索線を除き、スルッとKANSAIの「PiTaPaカード」、JR西日本の「ICOCA」をはじめ全国の主要な交通系ICカード、あわせて10種類がご利用いただけます。

また、「ICOCA」、「KIPS　ICOCA」および、これらのICカードによるIC定期券を発売しています。なお、JR西日本、京阪、阪神、JR東海、南海、名鉄とのIC連絡定期券も発売しています。



ICOCAカード



KIPS　ICOCAカード

相互直通運転　鉄　道

以下の3社局と相互直通運転を実施することにより、乗換えなしの便利な鉄道利用を実現しています。

相手社局	運転区間	効果
阪神電鉄	近鉄奈良駅～神戸三宮駅	奈良と神戸を直結
大阪市交通局	学研奈良登美ヶ丘駅～コスモスクエア駅	けいはんな学研都市、大阪都心、ベイエリアを直結
京都市交通局	近鉄奈良駅～国際会館駅	奈良と京都都心を直結

近鉄特急車両による阪神・近鉄直通臨時列車の運行　鉄　道

新たな観光需要の創出を目指して、2014年3月から近鉄特急車両を使用して、阪神線と近鉄線を直通で結ぶ団体向け臨時列車を運行しています。この臨時列車は旅行会社によるツアーや社員旅行など団体のお客様を対象として、神戸三宮から伊勢志摩方面を中心に、さまざまな区間を運行します。


近鉄特急車両（阪神線神戸三宮駅）

インターネット予約・発売サービス　鉄　道

特急券を事前にインターネット（携帯電話・スマートフォン・パソコン）で購入できるサービスで、駅で特急券を受け取らずそのままご乗車できるチケットレスサービスや、お好みの座席をシートマップで選択（乗継列車ごとに選択可能）いただける機能など、利便性・操作性のより一層の向上に努めています。

ホームページで遅延証明書の発行　鉄　道

2014年4月より、5分以上の遅延が生じた場合、近畿日本鉄道（株）ホームページにおいて、パソコン、携帯電話またはスマートフォンから遅延証明書をお受け取りいただけます。駅でも遅延証明書は引き続き発行します。

電車の利用促進　鉄　道

・お得なきっぷの発売

電車の利用を促進するため、回数券のほか、運賃や特急料金と沿線の観光地・施設等への入場券等を割引セットした「まわりゃんせ」「伊勢神宮初詣割引きっぷ」など、お得なきっぷを各種発売しています。



おトクなきっぷ「まわりゃんせ」

・沿線ハイキングの開催

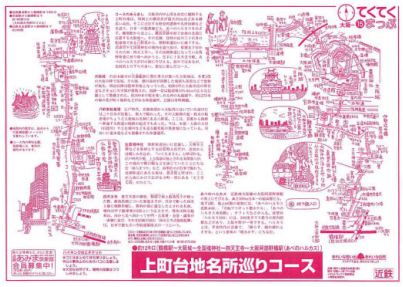
近鉄沿線の豊かな自然、史跡、街道、酒蔵等をめぐるハイキングコースを設定し、多数のお客様にお楽しみいただいています。

・近鉄あみま倶楽部

近鉄沿線を自由に楽しむ会員制のハイキング倶楽部（年会費：千円）です。歩いた回数に応じて記念品をプレゼントするほか、乗車券・特急券等の割引券が付いており、沿線各地のハイキングをお得にお楽しみいただけます。



近鉄あみま倶楽部



てくてくマップ（ハイキング地図）

きんてつ鉄道まつり　鉄　道

近畿日本鉄道（株）は、地域と連携した社会貢献のため、五位堂検修車庫（奈良県香芝市）と高安車庫（大阪府八尾市）で「きんてつ鉄道まつり2014」を2014年11月に、また塩浜検修車庫（三重県四日市市）で「きんてつ鉄道まつり2015ｉｎ塩浜」を2015年４月に開催しました。鉄道および近畿日本鉄道（株）の魅力がより多くの方に伝わるように、地域社会とのコミュニケーションに努めています。



クレーンの実演（五位堂検修車庫）

近鉄エリアキャンペーン　鉄　道

近畿日本鉄道（株）は、「地元と連携した観光強化」および「沿線観光資源の面的な掘り起こし」の取組みの一環として、沿線の特定地域を集中的にプロモーションする「近鉄エリアキャンペーン」を実施しています。

2014年度は「第3回 近鉄エリアキャンペーン　室生・赤目・伊賀上野」と題して、室生寺や長谷寺などの社寺や忍者の里として有名な伊賀、赤目四十八滝や曽爾高原などで開催しました。2015年度は、伊勢志摩の玄関口の松阪市を舞台とし、歴史やグルメなど松阪の魅力をたっぷり楽しんでいただくために、松阪市と連携して「ええやん！まつさか」と題して様々なＰＲを展開します。



ロゴマーク

内部・八王子線が四日市あすなろう鉄道として営業開始　鉄　道

2015年４月１日、内部・八王子線において、近畿日本鉄道（株）と四日市市が出資する四日市あすなろう鉄道（株）が営業を開始しました。四日市市が鉄道施設・車両を保有する第三種鉄道事業者、四日市あすなろう鉄道（株）が運行・営業を行う第二種鉄道事業者となり（公有民営方式）、新たなスタートを切りました。



オープニングセレモニー

天王寺公園「てんしば」管理運営受託　不動産

近鉄不動産（株）は、天王寺公園のエントランスエリアの管理運営事業を、2015年度から20年間受託しています。約7,000㎡の面積を持ち、多目的に利用できる芝生広場や、多彩なテナントを配置し、周辺地域を結ぶ交流拠点として、地域の皆様や来園される方々から愛され、親しまれる公園となるよう、愛称を「てんしば」としました。



「てんしば」芝生広場

あべのハルカス近鉄本店「縁活（えんかつ）」　百貨店

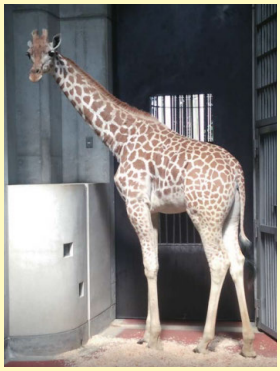
あべのハルカス近鉄本店が、市民活動団体・ボランティア・地域の方々と一緒に取り組む、楽しくて・社会をちょっと良くする活動「縁活」では、年間約600回以上開催される無料相談会や発表会等の各種イベントを通じて、お客様同士・お客様と百貨店との繋がりが広がっています。また、地域社会の一員として「どっぷり、昭和町。」等へのイベント参加、ボランティアによる地域情報の発信等により、地域社会との新しい繋がりも生まれています。



縁活（えんかつ）

天王寺動物園にアミメキリン「ハルカス」ちゃんを寄贈

天王寺動物園（大阪市）は、オスのアミメキリンを1頭飼育していますが、パートナーを迎えるために、2014年5月、当社がスポンサーとしてアミメキリン（メス・1才）を寄贈しました。日本一高いビルから、地球上で一番背の高い動物がプレゼントされることにちなんで、キリンの名前は、「ハルカス」ちゃんと命名しました。



キリン「ハルカス」ちゃん

地産品PRに向けた自治体との連携 リテーリング

（株）近鉄リテーリングは、阪和自動車道・岸和田サービスエリアにおいて、地元の豊かな「農」、「食」、「自然」を活かした賑わいづくりに向けて、2014年5月、岸和田市と連携協定を締結しました。この協定に基づき同サービスエリアで岸和田特産品の販売、新たな特産品の共同開発等に取り組んでいるほか、同市が進める「フクロウの森再生プロジェクト」にも協力しています。

駅構内における絵画・ポスター展 リテーリング

（株）近鉄リテーリングは、人・家族・地域との「絆」を大切にする取組みとして、大阪市立幼稚園58園の手作り紹介ポスターと、園児達の絵画を、大阪難波駅構内の商業施設「タイムズプレイス難波」壁面を利用して展示しています。



幼稚園児による手作りポスター・絵画展

大阪府献血啓発ポスター展への協力 リテーリング

（株）近鉄リテーリングは、一人でも多くの方に献血の大切さを知ってもらい、献血に協力していただくため、大阪府の献血啓発事業に協力しています。高校生による啓発ポスターを展示するとともに、街頭キャンペーンを支援しています。



高校生による街頭キャンペーン

大学生とのカフェメニュー共同開発 リテーリング

（株）近鉄リテーリングが運営する、西名阪自動車道・香芝サービスエリアでは、畿央大学と産学連携プロジェクトを立ち上げています。奈良をイメージしたカフェメニューをテーマに「香芝SAカフェメニュー開発プロジェクト審査会」を2015年7月に実施しました。コンテストには16チーム57名の学生が参加し、グランプリ、準グランプリのメニューは商品化し、10月より香芝サービスエリアで提供しています。



カフェメニュー開発プロジェクト審査会表彰式

コンビニ店舗スタッフによる駅業務の一部実施 リテーリング

鈴鹿市駅では、2015年7月より、駅改札口隣接の、（株）近鉄リテーリングが運営する「ファミリーマート近鉄鈴鹿市駅店」の店舗スタッフに、駅業務を一部委託しています。鉄道をご利用のお客様へのご案内や、改札・清算業務、ホーム・コンコースの清掃等を実施します。ラッシュ時間帯には駅係員も対応するほか、白子駅の係員も遠隔監視設備で対応します。



ファミリーマート店舗スタッフによる案内業務

東京証券取引所市場第一部へ上場 グループ

三重交通グループホールディングス（株）は、2015年3月、東京証券取引所第一部に上場しました。今後もグループ26社が連携し、総合力を最大限に発揮して収益の拡大を図り、投資家からも魅力ある企業グループとして認識していただけるよう努力します。



東京証券取引所第一部上場セレモニー

みえ伊勢志摩サミット～2016～バッジ グループ

三重交通グループでは、2016年に開催される伊勢志摩サミットを盛り上げていくお手伝いとして、2015年6月より、三重交通およびグループ各社の運転士・店員等の社員がバッジを着用しています。



バッジ

近鉄ライナーズのCSR活動

近鉄ラグビー部「近鉄ライナーズ」は、小中学校等でのラグビーの普及を通じて、子供たちの夢をはぐくみ、スポーツの素晴らしさや感動を共有し、スポーツマンシップや正しい生活習慣を身につけるお手伝いをしています。

また、地域社会の一員として、地域イベントへの参加、清掃活動や登下校の見守りなど、地域に愛されるチームになるよう努めています。



ラグビー体験

吉野の桜を守ろうキャンペーン　リテーリング

（株）近鉄リテーリングは、沿線価値の向上を目的に、吉野の桜を後世へ残す為の保全活動に取り組む「吉野桜基金」への寄付を目的とした募金活動を実施しています。2015年3月中旬～4月上旬にかけて、大阪阿部野橋駅と橿原神宮前駅の各店店頭において募金箱を設置したり、吉野町のマスコットキャラクター「吉野ピンクル」による街頭募金を実施しました。



吉野ピンクル

高校生のインターンシップ受入れ　グループ

奈交自動車整備（株）は、奈良県立の工業高校2校からのインターンシップ要請を毎年受入れています。インターンシップを通じて大型バスの整備業務の体験ができ、また生徒たちの「働くこと」への関心・意欲の向上や社会人としての心構えを身につけるお手伝いをしています。毎年、インターンシップを終えた生徒から、「この経験を将来に役立てたい」との感想をいただいています。



インターンシップ

ネパール地震災害義援金を寄付　KNT-CT

KNT-CTホールディングスグループは、2015年4月25日、ネパールにて発生した地震の災害に対して、グループ各社で募金活動を実施しました。1,815,898円が集まり、同額をKNT-CTホールディングス（株）が拠出するマッチングギフト方式を採用し、3,631,796円を在日ネパール国大使館に寄付しました。寄付金は当大使館を通じて、被災地の方々の復興のために役立てられます。



大使に目録の贈呈

「わたりグリーンベルトプロジェクト」への参加　KNT-CT

クラブツーリズム（株）は、特定非営利活動法人「わたりグリーンベルトプロジェクト」が実施している活動に、2012年4月からボランティアとして参加しています。東日本大震災によって壊滅した防潮林を再生する復興支援として、生き残った木から取った種から苗木を育成、植林し、3万本の町民憩いの森を再生させようという活動です。社員および募集したツアーのお客様が苗木ポットづくりや育成畑への設置等の活動に参加しています。



ボランティア活動への参加

首都圏で避難生活をされている方対象の支援イベント実施　KNT-CT

KNT-CTホールディングスグループは、東日本大震災により住み慣れた土地を離れ、首都圏で避難生活をしている人々を対象に、「同郷者との再会」「仲間づくり」「コミュニケーション」の場を提供し、楽しんでもらうイベント「こっちゃ来たらいいべぇ」を、2015年4月にNPO法人と共催して開催しました。



近鉄ライナーズ選手との交流

エコキャップ回収 KNT-CT

KNT−CTホールディングスグループでは、ペットボトルのキャップを役立てようと「エコキャップ回収運動」を実施しています。この活動は、ペットボトルのフタを分別回収することにより、再資源化を促進することで、CO_2を削減し、またその売却益で「発展途上国の子ども達にワクチンを贈る」ことを目的にしています。



エコキャップ回収ボックス

おでかけスポットをキレイに KNT-CT

KNT-CTホールディングスグループは、2014年11月に神奈川県の「サザンビーチちがさき」で、清掃活動を実施しました。ビーチでのゴミ拾いと同時に、波にうたれて丸くなったガラス（ビーチグラス）を拾い、アクセサリーを製作しました。作ったアクセサリーは「湘南ビーチグラス工房」の協力を得て販売し、収益金を寄付しました。



サザンビーチちがさきでの清掃活動

旭山動物園を清掃 KNT-CT

（株）ツーリストサービス北海道は、2015年4月に、社員や添乗員とその家族約60名が参加し、旭山動物園のボランティア清掃を実施しました。開園前の清掃作業に対し、「きれいな園内でお客様をお迎えできることは非常にありがたい」と感謝の言葉をいただきました。



旭山動物園での集合写真

熊野古道清掃ボランティア活動 グループ

三重交通グループホールディングス（株）は、三重交通グループの中核会社である三重交通（株）の創立70周年を記念して、2014年3月にグループ社員による熊野古道伊勢路通り峠・丸山千枚田コースの清掃と景観づくりボランティアを実施しました。「熊野市ふるさと振興公社」様と地元ボランティアの方々の協力のもと、通り峠・丸山千枚田コースのごみを拾い、景観づくりのためコスモスの種をまきました。



コスモスの種まき

御在所岳植樹ボランティア活動 グループ

三重交通グループホールディングス（株）は、三重交通グループの中核会社である三重交通（株）の創立70周年記念のボランティア活動第2弾として、2014年9月にグループ社員による御在所岳植樹ボランティアを実施しました。総勢67名でミズナラやドウダンツツジの苗木70本を植え、鹿に食べられないよう防護ネットで囲って保護しました。



御在所岳での植樹活動

地域における清掃 グループ

防長交通（株）は、周南市と市民が一体となって地域活動を推進することを目的として、市民が道路や公園などの里親となってボランティアで管理する、環境清掃里親制度を設置した2000年から、清掃活動に参加しており、週5日始業前、会社周辺道路のごみの収集や除草作業を、グループに分かれて行っています。今後も社会奉仕活動の一環として、この清掃ボランティアを続けていき、地域のみなさまに愛される企業を目指します。


感謝状

防長交通株式会社殿

貴団体は長年にわたり本市の環境清掃里親制度による清掃ボランティア活動において多大な貢献をされてこられました
その活動は市民の範となるものであります
よってここに深く感謝の意を表します

平成二十七年三月二十六日

周南市長 木村 健一郎

感謝状

7. インバウンドの取組み

駅コンシェルジュ　鉄　道

駅の改札口付近に、外国語（主に英語・中国語）が話せるスタッフを配置し、近鉄電車利用案内、切符購入のお手伝い、周辺施設の案内を行います。

配置駅：大阪難波、近鉄日本橋、大和西大寺、
近鉄奈良、京都、大阪阿部野橋

時間：9時～18時（一部の駅を除く）



駅コンシェルジュによる案内

タブレット等による翻訳サービス　鉄　道

駅に配置したタブレット端末の翻訳アプリとWi-Fiを利用し、音声認識による翻訳をして案内を行っています。

配置駅：大阪難波、近鉄日本橋、大阪上本町、近鉄奈良、京都、大阪阿部野橋、近鉄名古屋、鳥羽、賢島



また、NTT電話設置駅では、電話をオペレーターにつなぎ、オペレーターの通訳を介して案内を行います。対応言語は、英語・中国語（簡体字、繁体字）・韓国語・タイ語です。

タブレットによる案内

外国人観光客向けのお得なきっぷ　鉄　道

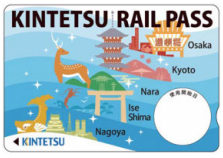
近畿日本鉄道（株）は、近年増加が著しい外国人観光客の誘致強化に向け、近鉄全線で乗降フリー（5日間）の「KINTETSU RAIL PASS」や「KINTETSU RAIL PASS wide」を発売しています。また、関西近郊に特化した「KINTETSU RAIL PASS 1day/2day（大阪－奈良－京都）」も2015年に発売を開始し、多くの外国人観光客にご利用いただいています。（日本在住の方は購入できません）



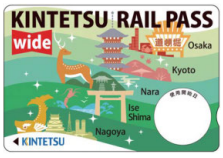
KINTETSU RAIL PASS　1day



KINTETSU RAIL PASS　2day



KINTETSU RAIL PASS



KINTETSU RAIL PASS　wide

外国からのお客様への対応　グループ

近鉄タクシーホールディングス（株）傘下のタクシー会社では、観光地においては、外国からのお客様に対応するため、英語をはじめとした外国語の指差しシートをタクシー車内に備え付けています。会話ができる乗務社員の教育に力を注ぐほか、近隣の学生と連携して、タクシーに乗務して通訳してもらう等の取組みも行っています。このことはお客様サービスの面だけでなく、学生にとっても語学習得の機会につながっています。

フォーリンカスタマーズサロンの開設　百貨店

（株）近鉄百貨店は、あべのハルカス近鉄本店に、2015年4月、今後も増加が期待される訪日外国人の誘客とサービスの充実のため、「Foreign Customer's Salon」を開設しました。このサロンでは、免税手続きに加え、自動外貨両替機の設置、手荷物預かりなど訪日外国人に便利なサービスを提供しています。



フォーリンカスタマーズサロン

ハラール認証の料理提供　ホテル

（株）近鉄・都ホテルズが運営する、シェラトン都ホテル大阪、ウェスティン都ホテル京都、岐阜都ホテルでは、ムスリム対応のハラール認証の料理を提供しています。



シェラトン都ホテル大阪　朝食ビュッフェ　ハラールメニュー（イメージ）

インバウンド向けタブレットメニューの導入　リテーリング

（株）近鉄リテーリングが運営する、東京風鰻料理店「江戸川」では、大阪・京都・奈良の一部店舗において、タブレット端末で、メニューや指差し機能を外国語（英語、中国語・簡体字、中国語・繁体字、韓国語、タイ語）で対応するサービスを導入しています。これにより料理内容を正確に伝えることができるようになりました。今後は外国人のお客様が多い他の事業でも導入を検討しています。

外国人観光客の誘致　グループ

近鉄グループでは、より多くの外国人観光客を沿線に誘致するため、海外の旅行会社への営業活動、海外で行われる旅行イベントへのブース出展、海外での広告宣伝などに取り組み、「KINTETSU RAIL PASS」などのPRをはじめ、沿線地域の魅力の発信に努めています。



近鉄グループのブース

特集 いろいろな近鉄電車

50000系　しまかぜ



23000系 伊勢志摩ライナー



26000系 さくらライナー



21020系 アーバンライナー ネクスト(next)



21000系 アーバンライナー プラス(plus)



30000系 ビスタEX



22600系 Ace



15400系 かぎろひ



15200系 あおぞらⅡ



観光列車　つどい



5200系


大阪線初代2250系特急塗装色車両

5820系　シリーズ21



5800系　L／Cカー



7020系



生駒鋼索11系(ミケ・ブル)

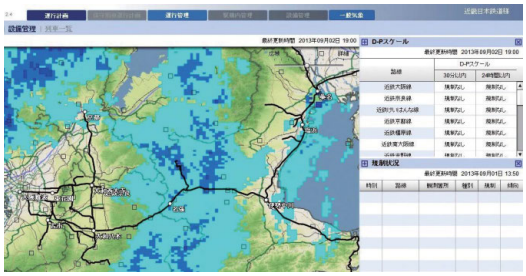


Ⅳ. 安全・安心の取組み

1. 鉄道事業の取組み（災害対策）

雨量システム　鉄　道

法面災害に対する運行安全のため、降雨量に応じた運転規制を行っています。このため、沿線各地に雨量計を設置するとともに、他の雨量情報も収集して、局地的な大雨にも対応可能なシステムを導入しています。

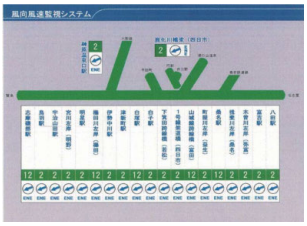


雨量システム

風向風速計　鉄　道

風向および風速を計測する装置で、発信器は、駅、橋梁、高架区間などの強風区間に設置しています。

風速が強くなった場合は駅長が列車の出発を見合せ、通過列車は停止させる処置をとります。



風向風速監視システム画面



風向風速計（発信器）

列車に火災が発生した場合　鉄　道

列車乗務員は、走行中の列車に火災が発生した時は、直ちにパンタグラフを降下し、地形を考慮（トンネル内、橋の上等は避ける）して停止し、お客様を火災発生車両以外の安全な車両に移動していただくなどの安全を図り、速やかに消火にあたります。

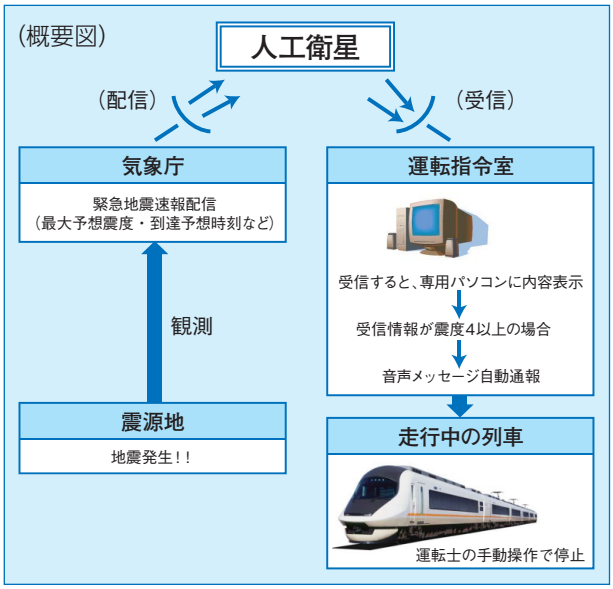


地下線内列車火災訓練（大阪上本町駅～鶴橋駅間）

緊急地震速報システム　鉄　道

地震が発生した場合、気象庁の地震観測網から得られた地震発生情報を即座に走行中の列車に伝達する「緊急地震速報システム」を導入しています。

このシステムは、地震の大きな揺れが到達する数秒～数十秒前に気象庁より配信される緊急地震速報データ（大きな揺れが到達するまでの時間や規模等の情報）を運転指令室において受信し、走行中の列車に対して音声メッセージを自動的に通報することにより、被害の最小化を図るものです。



地震計システム　鉄　道

地震発生時、走行中の列車に対して的確な指示を行うため、鉄道沿線の12箇所に設置した地震計を用いて上本町、東生駒、天王寺、名古屋の各運転指令室で必要とする箇所の震度情報を収集し、地震警報表示盤で表示および警報を鳴動させます。この情報をもとに、震度4以上の地震が発生したときは、自動的に指令無線により、運転指令室から走行中の列車に対して停止指令を通報できるよう、地震情報通報装置も設置しています。なお、気象庁の震度発表後は、それにより運転規制を行います。

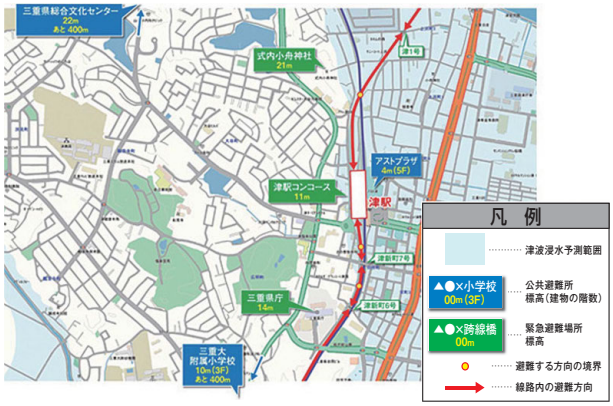


地震警報表示盤

東海地区における津波対策　鉄　道

三重県・愛知県内の路線では、津波が襲来した場合、お客様と係員を津波被害から守るため、自治体が作成した津波浸水予測図等を参考に、「津波発生時の緊急避難場所地図」を作成し乗務員等へ配布しています。

この地図には、公共避難所および近畿日本鉄道（株）が定めた緊急避難場所、それぞれの避難場所の標高などを記載しています。また、お客様が円滑に避難できるよう、線路内に避難方向を示す、緊急避難誘導標（指示標・終端標）を設置しています。



津波発生時の緊急避難場所地図（津駅周辺）



終端標



指示標



指示標

帰宅困難者対策に関する協定（京都市）　鉄　道

大規模災害発生時の京都駅周辺における帰宅困難者について、緊急避難広場や一時滞在施設、避難誘導への協力について、近畿日本鉄道（株）を含む鉄道会社、ホテル等の周辺施設と京都市が、2014年3月、帰宅困難者対策に関する協定を締結しました。

また、協定に基づき、京都市、JR東海、JR西日本ほかと、夜間に避難誘導合同訓練を実施しています。

名古屋駅周辺地区における帰宅困難者対策　鉄　道

行政と鉄道やインフラ事業を含む民間事業者が一体となり、2012年2月に設立された「名古屋駅周辺・伏見・栄地域都市再生緊急整備協議会」に参加し、大規模災害が発生した場合に大きな混乱を招くことが懸念される名古屋駅周辺地区における帰宅困難者対策に取り組んでいます。

大阪市の主要ターミナル駅周辺における帰宅困難者対策　鉄　道

大規模災害時の帰宅困難者対策を進めていくため、大阪市が中心となって2015年5月に設立された「難波駅周辺地区帰宅困難者対策協議会」、「天王寺駅周辺地区帰宅困難者対策協議会」に参加し、帰宅困難者の支援体制づくりに努めています。

異例事態対応訓練

大規模災害発生の際、全社体制で情報を的確かつ迅速に伝達し、適切な初動体制を構築することを目的としています。


異例事態対応訓練（異例事態対策本部 本社）


異例事態対応訓練（五位堂検修車庫でのお客様救出の様子）

事故・災害総合訓練　鉄　道

地元の警察署、消防署と協力して、事故発生時のお客様救出等の訓練を行っています。


事故災害復旧訓練（名古屋地区）

防災訓練　鉄　道

駅などにおいて、防災訓練を実施しています。


ＪＲ東海との合同地震津波訓練（津駅）

2. 鉄道事業の取組み（駅における安全対策）

内方線付き点状ブロック　鉄　道

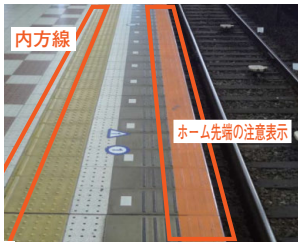
ホームの縁端を警告する「黄色い線」（点状ブロック）は全駅整備済みですが、さらにホームの内外方を判別するための内方線の整備を進めています。利用者1万人以上の駅を中心に順次整備しています。

ホーム先端の注意表示　鉄　道

ホームからの転落事故を防ぐため、一部の駅においてホーム先端に注意表示を施しています。

足下灯　鉄　道

電車とホームの間が大きく空いている箇所では、足下を照らして、お客様に注意していただくよう蛍光灯やLED灯を設置しています。



内方線・ホーム先端の注意表示



足下灯

車両連結部の転落防止用外幌（そとほろ）等　鉄　道

お客様が、ホームと車両連結部の隙間から転落するのを防止するため、車両連結部分に取り付けています。

また、転落防止用幌を取り付けできない先頭車両同士の連結部においては、一部の車両で案内音声を流し、注意喚起を図っています。


転落防止用外幌

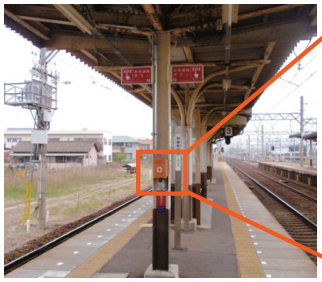
終端駅における転落防止柵　鉄　道

終端駅においてお客様の転落を防止するための固定柵の整備を進めています。


転落防止柵

非常通報装置　鉄　道

ホームにおいて、お客様が線路へ転落されるなど、不測の事態が発生した場合、ホームに設置した非常通報ボタンを押して乗務員に異常を知らせるものです。列車との接触事故を少なくする目的で、順次設置を進めています。


非常通報装置



非常通報ボタン

ホームステップ・ホーム下の待避スペース　鉄　道

ホームにおいて、お客様が線路に転落された場合の安全対策として、ホーム下の待避スペースの確保、あるいはホームに昇るステップを設置しています。


ホームステップ


ホーム下の待避スペース

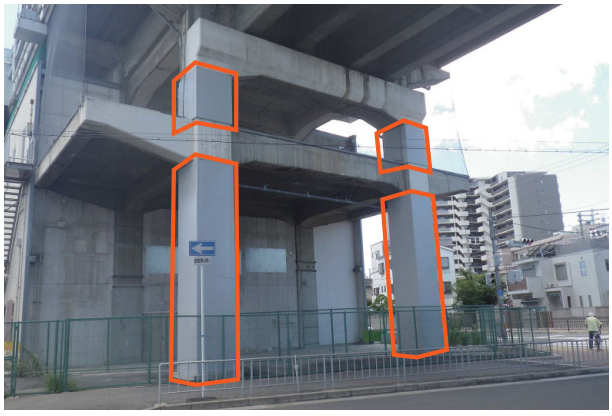
転落検知マット　鉄　道

お客様がホームから転落された場合に、ホーム下に敷設したマットで感知し、乗務員に異常を知らせる装置で曲線ホームの多客駅に設置しています。


転落検知マット

高架橋および駅舎の安全性向上　鉄　道

国土交通省の通達に基づき、高架橋の柱に鋼板を巻くなど、継続的に耐震補強工事を実施しているほか、計画的に駅舎等の耐震補強工事も実施しています。


高架橋　耐震補強工事

こども110番の駅 鉄　道

こどもを犯罪から守るため、全国的な地域活動として始まった「こども110番の家」を、鉄道駅へと広げる取組みで、近畿日本鉄道(株)では駅長所在駅等で取り組んでいます。

「こども110番の駅」では、目印となるステッカーを見て、こども達が駅に助けを求めてきた場合に保護し、110番通報を行うなどの対応をとります。



こども110番の駅　ステッカー

女性専用車両 鉄　道

近畿日本鉄道（株）では、奈良線において、平日ダイヤの始発から午前9時30分までに大阪難波駅に到着する快速急行の最後尾1両を女性専用車両としています。

ユニバーサルデザイン旅行センター開設 KNT-CT

クラブツーリズム（株）は、過去20年にわたり取り組んできたバリアフリー旅行の実績と経験をもとに、これまでのバリアフリー旅行センターを拡充させる形で、新たに2015年4月に、ユニバーサルデザイン旅行センターを開設しました。今後さらに進む高齢化の中で、通常の旅行から足が遠のくことが予想される10年後を見据えて、いつまでも誰にでも旅の感動を体感していただくことをコンセプトにしています。また、2015年5月にエレベーター付き大型バスを導入しました。


エレベーター付き大型バス

交通教育の実施 グループ

近鉄東美タクシー（株）は、中津川市主催の「のりものふれあい広場」において、乗り物に親しんでもらい、公共交通機関の利用促進を図るとともに、自動車交通安全及び消防・救急活動に対する啓発や、「子育て支援タクシー」のＰＲ活動を実施しました。


子育て支援タクシー

地域の防犯に役立つタクシー グループ

近鉄タクシーホールディングス（株）傘下のタクシー会社では、毎日24時間、道のあるところを運行するという営業上の特徴から、地域社会の防犯面で協力しています。様々な事件や事故の解決のために、タクシーに取り付けたカメラの映像が利用されるケースが増えており、警察からの要請を受けてカメラの映像を再生すると、犯人の逃走車やひき逃げ現場をとらえていることもあります。また、地方自治体や警察と連携しながら、困っている子どもや認知症により徘徊する老人を発見、保護に努めています。

貸切バス事業者安全性評価認定制度で最高評価の三ツ星を取得 グループ

三重交通グループのバス会社5社（三重交通(株)、名阪近鉄バス(株)、三交伊勢志摩交通(株)、三重急行自動車(株)、八風バス(株)）は、(社)日本バス協会の「貸切バス事業者安全性評価認定制度」で最高ランクの「三ツ星」を2015年9月15日に認定され、取得しました。



評価認定制度のシンボルマーク

バスの乗り方教室 グループ

三重交通（株）は、2015年5月、三重県名張市のつつじが丘小学校1年生109名と保護者を対象に、バスの乗り方教室を開催しました。保護者の方も実際に運転席に座り、安全にバスを利用していただくための注意事項を体験しました。


バスの乗り方教室

交通バリアフリー教室 グループ

名阪近鉄バス（株）は、2014年8月、小学校の生徒75名を対象に、中部運輸局主催の交通バリアフリー教室に協力しました。車いすでのバス乗降体験、車いすの固定の仕方の実演をおこないました。


車いすでのバス乗降体験

V. 環境報告

「環境にやさしい」企業グループを目指し、毎年度環境目標を定め、省エネルギー・省 CO_2、省資源、リサイクルなど様々な取組みを実施しています。

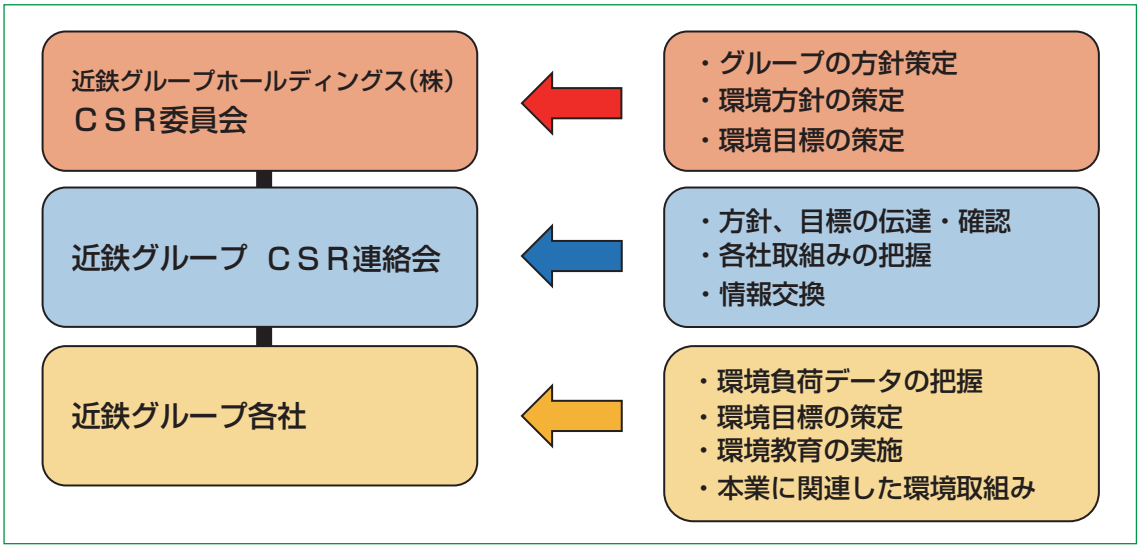
1. 環境推進体制

近鉄グループホールディングス環境方針

地球環境の保全は人類が共同して取り組むべき重要課題であるとの認識のもと、環境にやさしい企業運営を目指します。

1. 環境関連の法規・規制等を遵守し、環境保全に努めます。
2. 省エネルギー、省資源、リサイクル、廃棄物の削減等への取り組みを通じ、地球の温暖化防止、環境負荷軽減に努めます。
3. 環境教育を通じて、社員の意識向上を図ります。
4. 地域社会との関わりを大切にし、環境保全活動への取り組みを通じ広く社会に貢献します。
5. この環境方針は社員へ周知するとともに、一般に公表します。

近鉄グループ環境推進体制



2. 外部認証・表彰等

近畿運輸局交通関係環境保全優良事業者等表彰

2015年8月、近畿運輸局より「平成27年度近畿運輸局交通関係環境保全優良事業者等表彰」を受けました。大阪阿部野橋駅での省エネ・節水や、あべのハルカス、環境情報の公開など、様々な取組みが評価されました。



近畿運輸局長との記念撮影（表彰式）

CSRレポートが環境省「環境コミュニケーション大賞」の「優良賞」を受賞

環境省が主催する第18回「環境コミュニケーション大賞」において、当社の「CSRレポート2014」が、2015年2月に環境報告書部門の「優良賞」を受賞しました。今後も親しみやすい内容と、わかりやすい情報開示に努めます。


賞状
環境報告書部門
優良賞
近畿日本鉄道株式会社殿
あなたは第十八回「環境コミュニケーション大賞」において頭書のとおり優秀な成績をおさめられましたのでこれを賞します
平成二十七年二月二十五日
第十八回環境コミュニケーション大賞
審査委員長　山本良一

表彰状

京都府より優良事業者表彰

京都府地球温暖化対策条例に基づく事業者排出量削減計画制度において、CO_2（二酸化炭素）削減の取組みが優秀であると認められ、2015年1月、京都府より「Sランク事業者」の中から特に選ばれた「優良事業者」として表彰されました。2011年度～2013年度の3年間のCO_2削減実績と、削減の取組みが評価されました。



京都府知事との記念撮影（表彰式）

京都市より優良事業者表彰

京都市地球温暖化対策条例に基づく事業者排出量削減制度において、CO_2削減の取組みが優秀であると認められ、2014年12月、京都市より「優良事業者」および「Sランク事業者」として表彰されました。2011年度～2013年度の3年間のCO_2削減実績と、削減の取組みが評価されました。



京都市長との記念撮影（表彰式）

近畿電力利用合理化委員会委員長表彰 グループ

飛鳥ゴルフ(株)は、2015年6月、近畿電力利用合理化委員会委員長表彰を受賞しました。受賞理由は、空調・給油熱源機器をA重油炊き吸収式温水器から高効率空冷HPチラーに転換し、空調設備を高効率化した等で、省エネルギー・CO_2削減に成果をあげたことです。今後も電球のLED化等により、省エネルギー・CO_2の削減に努めます。



クラブハウス

DBJ環境格付の最高ランク取得

2015年3月、(株) 日本政策投資銀行（DBJ）の「環境格付融資制度」の審査において、環境に配慮した企業経営が評価され、「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という最高ランクの認定を3年連続で取得しました。

また、同時に「DBJ　BCM（事業継続管理）格付」においても、3年連続の最高ランクを取得しています。

当社は、2015年3月日本政策投資銀行（DBJ）より環境格付融資を受け、格付結果は「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」と評価されました。

日立環境財団の環境賞を受賞 ホテル

(株)近鉄・都ホテルズが運営するホテル近鉄アクアヴィラ伊勢志摩が、三重県、志摩市、(株)合歓の郷と共同で取り組んできた、「英虞湾の沿岸遊休地を干潟に戻すプロジェクト」が、2014年6月、日立環境財団の環境賞「優良賞」を受賞しました。

英虞湾では、1960年代から赤潮などが発生し、海域の環境悪化による真珠養殖業をはじめとする生物生産の低下が社会問題となっており、その原因の一つに、干潟消失による自然浄化能力の低下にあることが、これまでの研究で判明しています。

同ホテルでは、三重県水産研究所の指導のもと、湾奥部の遊休地と海域とを分断している堤防の水門を開放し、海水導入による干潟再生を実施しました。

今回の受賞は、三重県水産研究所の研究成果を志摩市の地域政策に取り入れ、企業や自治体が連携して沿岸遊休地の干潟再生を実現することにより、伊勢志摩国立公園の自然の恵みを支える生物多様性の再生に寄与した業績が評価されたものです。



表彰式

CDPへ回答

CDP（カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト）とは、世界の機関投資家が連携し、世界の企業に対して、気候変動のリスクと機会の内容、それに対する戦略や温室効果ガス排出量等の公表を求める活動で、日本では時価総額上位500社を対象とし、当社は毎年回答しています。

当社のCDPスコア

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	
ディスクロージャー	80	80	78	91	95	※1
パフォーマンス	C	C	C	B	B	※2

※1　情報の質や、気候変動のリスクと機会の理解度を評価します。
※2　気候変動対策の有効性をA～Eの5段階で評価します。

3. 環境目標と環境負荷データ

(1) 環境目標と実績

近鉄グループ中期環境目標（2015年度～2020年度）

1.近鉄グループは、2020年度における環境重点項目の実施率100%を目指します。
（※環境重点項目=①環境目標の策定　②環境教育の実施　③エネルギー使用量等の実績把握）
2.近鉄グループは、2020年度までに全社が自社の事業に関連する、環境に配慮した活動を行います。

※目標1の「近鉄グループ」の範囲は、当社および連結子会社の58社です。
※目標2の「近鉄グループ」の範囲は、当社および連結子会社のうち、純粋持株会社を除く51社です。

2015年度　近鉄グループ環境目標

2015 年度　近鉄グループ環境目標	2014 年度実績	2020 年度（目標）
1. 環境目標を 30 社以上で策定します。	24 社	(58 社)
2. 環境教育を 25 社以上で実施します。	21 社	(58 社)
3. エネルギー使用量等を 35 社以上で把握します。	29 社	(58 社)
4. 自社の事業に関連する、環境に配慮した活動を 20 社以上で実施します。	15 社	(51 社)

※目標1～3の対象範囲は、当社および連結子会社の58社です。
※目標4の対象範囲は、当社および連結子会社のうち、純粋持株会社を除く51社です。

2014年度　近鉄グループ環境目標　実績

2014 年度　近鉄グループ環境目標		2014 年度実績	2013 年度実績	2012 年度実績
1. グループ各社において、個別の環境目標を設定する。		53 社	38 社	26 社
2. 各社の環境負荷データの把握につとめる。	エネルギー	55 社	56 社	54 社
	紙	55 社	52 社	46 社
	水	43 社	40 社	36 社
	廃棄物	41 社	34 社	―
3. 各社で環境教育を実施する。		47 社	41 社	35 社

※「近鉄グループ環境情報交換会」(現:CSR連絡会)に参加の約60社(連結子会社・非連結子会社・関連会社含む)を対象とします。
※2015年度の近鉄グループ環境目標は、当社および連結子会社のみを対象とするため、上記対象とは異なります。

2014年度　環境目標と実績・評価

評価基準　★★★……目標達成
★★……目標未達成だが理由があるもの
★……目標未達成

2014年度 環境目標	2014年度 実績	評価
1. 省エネルギー、省資源、省CO_2の推進		
運転用電力（原単位）を1%削減する。	一昨年が猛暑だったため、1.1%の減でした。	★★★
鉄道事業における付帯用電力を1%削減する。	一昨年が猛暑だったため、3.1%の減でした。	★★★
駅施設等での節電につとめる。	夏・冬と節電に取り組みました。	★★★
鉄道以外の事業におけるエネルギー消費原単位を1%削減する。	期中のテナントの退出や新規出店等の影響で、正確な原単位は算出不能でした。 使用量では不動産▲23%、流通+22%、ホテル+5%、レジャー▲6%でした。	★★
LEDの導入促進を図る。	大阪難波駅、近鉄日本橋駅ほかに、合計5,421台を導入しました。	★★★
	建物では、更新時等に適宜導入しました。	★★★
OA用紙使用枚数を前年より減らす。	4,042万枚で4.2%の減少となりました。	★★★
本社内複合機実績　複数ページ割付率8%	複数ページ割付率7.2%でした。	★
本社内複合機実績　両面印刷率30%	両面印刷率31.6%でした。	★★★
水の使用量を前年より減らす。	あべのハルカスの影響を除外すると、2,627千㎥で1.8%の減でした。 あべのハルカス（2014開業）を含めた使用量は、3,277千㎥になります。	★★★
エコオフィス運動を推進する。	各部署での環境指導員を通じて実施しました。	★★★
レジ袋削減を呼びかける。	流通事業で呼びかけを実施しました。	★★★
燃費を把握してエコドライブにつとめる。	記録をつけて、毎月の燃費を把握するようにしました。	★★★
2. 廃棄物の適正処理		
各部門の一般廃棄物リサイクル率を前年より上げる。	ビル・ホテル・駅のリサイクル率が向上し、全体では60%でした。	★★★
産業廃棄物（特定建設資材廃棄物）リサイクル率95%	95%で達成しました。	★★★
3. グリーン購入の推進		
グリーン商品購入を促進する。	各部署にグリーン商品購入を呼びかけました。	★★★
4. 社外への環境情報開示の推進		
CSRレポートを発行する。	「CSRレポート2014」を10月に発行しました。	★★★
グループを含めた環境マネジメントを推進する。	近鉄グループ環境情報交換会等で目標を定め推進しました。	★★★

※分社化する前の近畿日本鉄道(株)としての目標と実績です。

(2)2014年度　近鉄グループの環境負荷データ

エネルギー使用量およびCO_2排出量

種別	使用量
電力量	1,176,542千kWh
都市ガス	19,761千㎥
プロパンガス	4,030t
白灯油	614kℓ
重油	9,593kℓ
ガソリン	2,259kℓ
軽油	37,250kℓ
冷水	50,310GJ
計（熱量）	14,772,621GJ
計（CO_2 排出量）	803,247t-CO_2

資源投入量

種別	使用量
OA 用紙	16,742万枚
水	4,946千㎥

廃棄物排出量

一般廃棄物

	排出量
一般廃棄物	12,474 t

産業廃棄物

	排出量
燃えがら	546t
汚でい	9,869t
廃油	320t
廃酸	6t
廃アルカリ	7t
廃プラスチック	1,715t
紙くず	543t
木くず	2,882t
繊維くず	14t
植動物系不要物	1t
ゴムくず	51t
金属くず	9,192t
ガラス及び陶器くず	886t
建設廃材	23,915t
その他	3,815t
合計	53,762t

※近鉄グループの主な60社を対象とし、エネルギー使用量は55社、OA用紙は55社、水は43社、廃棄物は31社の合計を記載しています。
※賃貸ビルに入居のため、使用量が把握できない会社もあります。
※CO_2排出係数は、関西電力の0.552kg-CO_2/kWhを使用しています。

(3)2014年度　環境会計

※2014年度の分社化する前の近畿日本鉄道(株)の数値です。

環境保全コスト

(単位：千円)

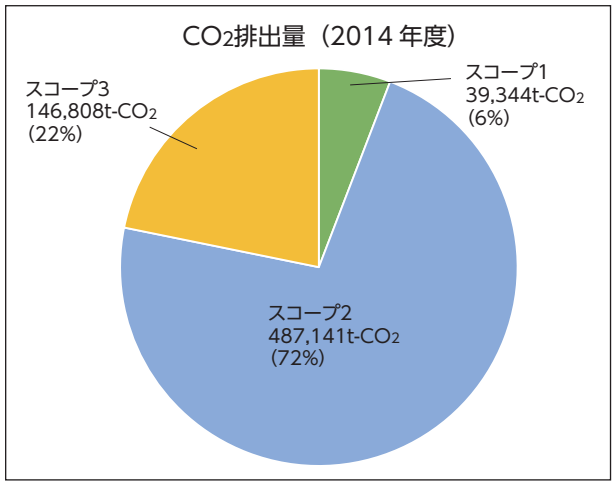
分類・取組み	2014年度		
	投資	費用	計
事業内エリアコスト	1,336,985	2,611,595	3,948,580
①公害防止コスト	(729,751)	(695,689)	(1,425,440)
②地球環境保全コスト	(133,209)	(231,873)	(365,082)
③資源循環コスト	(474,025)	(1,684,033)	(2,158,058)
上・下流コスト		22,577	22,577
管理活動コスト		25,494	25,494
研究開発コスト			
社会活動コスト	387,083	21,018	408,101
環境損傷コスト			
合計	1,724,068	2,680,684	4,404,752

環境保全コストの内容

事業内エリアコスト	事業エリア内で環境負荷を抑制するための保全コスト
①公害防止コスト	騒音・振動、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、悪臭対策等
②地球環境保全コスト	温暖化防止、LED 照明、エレベータ保守点検等
③資源循環コスト	産業・一般廃棄物処理、節水、清掃等
上・下流コスト	グリーン購入の差額、容器包装リサイクル等
管理活動コスト	環境教育、ISO14001、環境組織、人件費等
研究開発コスト	環境保全に資する製品の研究開発等
社会活動コスト	緑化、美化、景観保持等
環境損傷コスト	自然破壊の修復等

CO_2のスコープ別排出量

当社が排出するCO_2には、スコープ1（燃料を使用して直接排出する量）、スコープ2（電力等のエネルギーを使用して間接的に排出する量）、スコープ3（サプライチェーンにおける間接排出量）の3種類があります。サプライチェーンとは、製造した商品が消費者に届くまでの一連のプロセス（開発・調達・製造・配送・販売）を言い、スコープ3の排出量を算定することで、企業活動全体での影響を把握することが可能になります。2014年度のスコープ別排出量は、以下の通りです。（分社化する前の近畿日本鉄道（株）の実績です。）



4. 鉄道事業の環境取組み

鉄道事業の電力消費

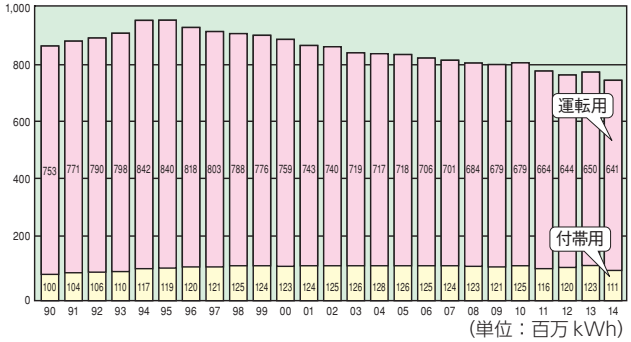
鉄　道

近畿日本鉄道（株）の2014年度の鉄道用電力使用量は約752百万kWh（前年度比2.7%減）で、運転用電力は前年度比1.4%減、付帯用電力は前年度比3.1%減でした。これは、車両走行キロが前年度比0.3%減であったことと、一昨年が猛暑によるものと思われます。

運転用電力：列車を動かすために使用する電力

付帯用電力：駅施設等で使用する電力

鉄道用電力消費の推移



（単位：百万kWh）

電力消費の推移	1990年度	2014年度
動力原単位 （kWh／車キロ）	2.48	2.11 （△14.9%）

省エネ車両

鉄　道

消費電力の削減に貢献する省エネルギー車両を順次導入し、全車両の60%にあたる1,145車両が省エネルギー車両です。そのうち特に省エネ効果の高いVVVF車両は一般車両と比べて消費電力を35%削減しており、896両です。また、アルミ車両、ボルスタレス台車により車両の軽量化も図っています。

地下駅の空調設備の効率化

鉄　道

地下駅の空調設備において、温度負荷に応じた細かい運転を行うインバータ化を図り、効率的な運転を行うことで電力消費を削減しています。

大阪難波駅、近鉄日本橋駅、大阪上本町駅、近鉄奈良駅、大阪阿部野橋駅、近鉄名古屋駅でインバータ化を実施し、年間約324万kWhの電力を節約しています。

パーク&ライド

不動産

駅周辺で駐車場および駐輪場をグループ会社が運営するほか、時間貸し駐車場業者に土地を賃貸し、駐車場運営が行われています。

き電線上下一括化

鉄　道

上り線と下り線のき電線を電気的に接続することで、き電抵抗が減少し、き電線で消費されている電力損失の低減を図ります。また、回生ブレーキにより発生した回生電流が接続箇所を流れるため、上下の列車間でお互いに効率よく利用することで電力量削減を図ります。2014年度末現在で、奈良線、京都線、橿原線、南大阪線、名古屋線、山田線、鳥羽線、志摩線等で実施しており、年間870万kWhの電力を節約し、2015年度は大阪線に拡大する予定です。

力率改善用進相コンデンサの設置

鉄　道

通常は電力を使用する際には、電力ロスが発生しますが、力率改善用進相コンデンサを設置することでロスを減らし、電力効率を改善しています。尼ヶ辻変電所、中川変電所の29ヶ所の変電所と、駅の電気室に設置し、毎年252万kWhの電力を節約しています。

回生車と回生電力吸収装置

鉄　道

回生車とは、回生ブレーキ装備の車両で、速度を一定に抑える時や、減速する時に、モーターを発電機として使用し、発電された電気を他の車両で利用、もしくは回生電力吸収装置で吸収し、駅構内等の照明設備等に再利用できます。新生駒変電所、白庭変電所と長谷変電所に回生電力吸収装置を設置し、年間約115万ｋWhの電力を回収して再利用しています。

LED照明

鉄　道　リテーリング

長寿命で省エネ効果が高いLED照明を、駅や駅売店で使用しています。2013年度は大阪上本町駅地上改札外および大阪阿部野橋駅の照明をLED照明に変更し、2014年度は大阪難波駅、近鉄日本橋駅および大阪上本町駅の地下コンコースおよびホームの照明をLED照明に変更し、年間276万kWhの電力を節約しています。また、観光特急「しまかぜ」では、車両内で全面的に使用しています。今後も導入を進めていく予定です。

サイクルトレイン

鉄　道　グループ

伊賀鉄道（株）および養老鉄道（株）では、休日および昼間時間帯に、自転車の持込みが可能となっており、鉄道の利用促進を行っています。また、近畿日本鉄道（株）も貸切列車として不定期にサイクルトレインを運行しています。



サイクルトレイン

ごみの分別・減量 鉄道

駅のごみ箱は、「缶」「ペットボトル」「新聞・雑誌」「その他」に分別し、ごみの減量とリサイクルを進めています。また、家庭ごみや危険物の不法投入等を防止するため、ごみ箱の透明化を順次進めています。

列車内から排出されるごみは、車両整備時に回収・分別しています。



分別ごみ箱

鉄道工事等で排出する廃棄物の減量・管理 鉄道

工事や作業で発生する不要になった資材は、社内においてリサイクルを図り、排出する廃棄物の減量に努めています。やむを得ず処理する廃棄物については、近畿日本鉄道(株)は産業廃棄物の排出事業者として、収集・運搬・処分業者に産業廃棄物管理票(マニフェスト)を発行し、適時処理現場を確認するなど、それぞれ適正な処理を各業者に促しています。

古いレール部品等の活用 鉄道

中古のレール、まくらぎ等のうち再利用が可能な材料については積極的に再利用するほか、廃車車両の使用可能機器をできる限り再利用し、新造車両や増備車両に使用しています。

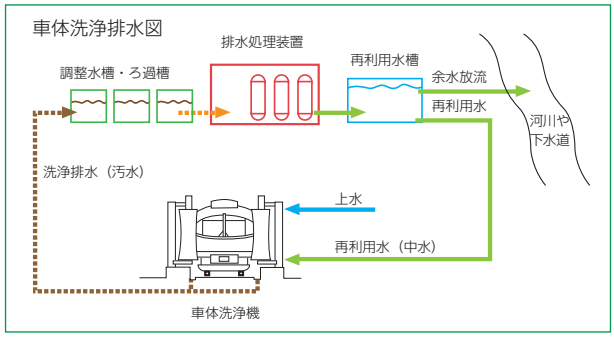
車両における配慮 鉄道

新型通勤車両(シリーズ21)では、シートのクッションに再生可能なポリエステル繊維を採用しています。車体の材料には、リサイクルの容易なアルミ材を使用しています。

車庫における水の有効利用 鉄道

車庫(検車区)において、車体洗浄機により車両を洗浄しています。車体洗浄機から排出される洗浄排水は排水処理装置により浄化して河川や下水道に放流しています。またこの水の一部を車体洗浄機やトイレ付車両の汚物タンク洗浄水として再利用しています。

名古屋線富吉車庫の車体洗浄機においては、大気や水との反応により、中性に戻る、環境や人に優しい「アルカリ性電解水」を使用しています。

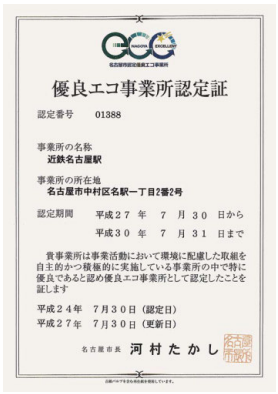


ISO14001の取り組み 鉄道

近畿日本鉄道(株)の車両を定期的に分解して、検査、修繕や改造を行う五位堂検修車庫(奈良県香芝市)では、ISO(国際標準化機構)規格に準拠した環境マネジメントシステム(ISO14001)を導入し、環境負荷の継続的改善に努めています。

名古屋市優良エコ事業所 鉄道

名古屋市が定める「優良エコ事業所」認定制度において、2012年7月、近鉄名古屋駅が鉄道会社初の認定を受けましたが、2015年7月の更新審査において、今後3年間も優良エコ事業所として認定されました。


優良エコ事業所認定証

認定番号 01388

事業所の名称
近鉄名古屋駅

事業所の所在地
名古屋市中村区名駅一丁目2番2号

認定期間 平成27年 7月30日から
平成30年 7月31日まで

貴事業所は事業活動において環境に配慮した取組を自主的かつ積極的に実施している事業所の中で特に優良であると認め優良エコ事業所として認定したことを証します

平成24年 7月30日(認定日)
平成27年 7月30日(更新日)

名古屋市長 河村たかし

生物多様性との関わり 鉄道

事業活動の様々な段階において、生物多様性への影響があることを認識し、負の影響をできるだけ抑制するよう、生物多様性の保全につとめています。

一般的な生物多様性への影響

以下の影響をできるだけ小さくするように配慮して行動します

- 原材料の調達による影響
- CO_2排出による気候変動
- 大気汚染
- 土壌汚染
- 水の汚染
- 土地の加工による影響
- 騒音・振動による生態系の変化
- 接触事故による生態系への影響

鉄道事業において、生物多様性に配慮しています

(原材料の調達)
- 生態系を破壊しない原材料の調達
- 再生可能資源(水)の使用
- 鉱物資源(アルミニウム・鉄)の使用

(設計・製造・生産)
- 効率よいエネルギーの使用
- 駅・線路の敷設による土地の加工
- 建設資材、レール等の原材料の使用
- 温室効果ガスを含む部品の使用
- 水の使用(取水・排水)
- 環境負荷の少ない設計

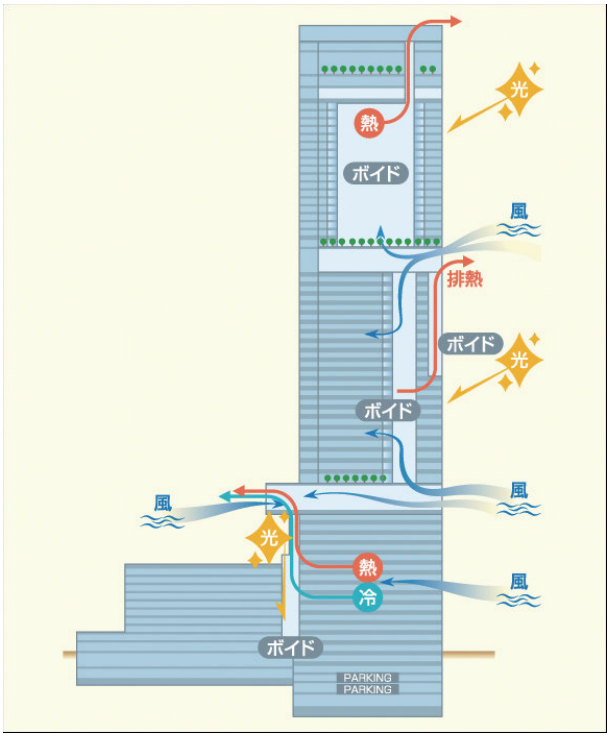
(運行・保守点検)
- 運行時の電力使用の効率化
- 騒音・振動を抑えた運行・保守
- 車両洗浄での水の浄化・再利用
- 保守点検における適正な化学物質の使用
- 線路周辺における適正な除草剤の使用
- 鹿などとの接触防止対策
- 車両部品に含む温室効果ガスの適正管理

(回収・リサイクル・廃棄)
- 廃棄物の適切な処理
- 車体・部品のリサイクル
- 定期券のリサイクル
- 廃棄物・リサイクルの実態確認
- お客様のゴミの分別リサイクル

ボイド（吹き抜け）構造

不動産

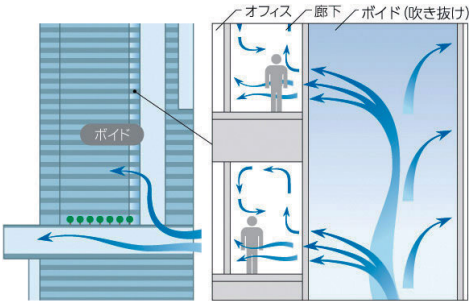
あべのハルカスは自然エネルギーを効率よく利用する「ボイド（吹き抜け）」を設けています。この吹き抜けによってビルの縦横に「光の道」「風の道」ができ四季と時刻に応じて屋外と緩やかにつなぐことで自然を感じることのできる空間となります。快適性を向上し、省CO_2も進めていくことを目指しています。



あべのハルカスのボイド（吹き抜け）構造

●まるで高原にいるような爽快感。ビルの中を気持ちのいい風が吹き抜けます。

ビルのフェイスと内部の吹き抜けを巧みに関連づけて外気導入や排気を可能にします。廊下と吹き抜けは接続されて外気冷房を実現。ビルの中にいながら、外の気配を感じることができる嬉しい設計になっています。



●涼しい外気を利用して冷房し、省エネルギーを実現します。

オフィスでは吹き抜けを経由して、春や秋、夜間などの涼しい外気を館内に導きます。夜間は天井内を冷やして昼間の空調に利用（ナイトパージ）するなど省エネルギーとなります。

ダブルスキンウィンドウ

不動産

●ダブルスキンのウィンドウで必要な光を取り込みます。

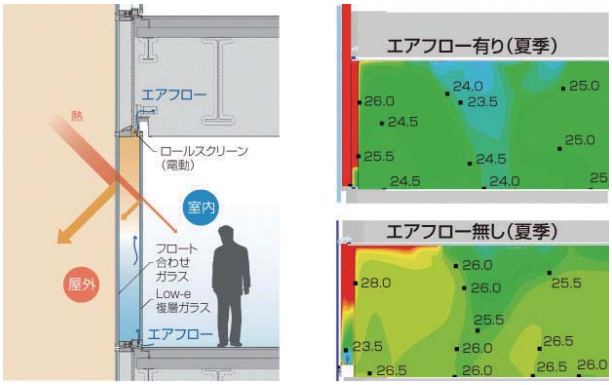
窓はフロート合わせガラスとLow-e複層ガラスによるダブルスキン構造。豊かな眺望とともに広く光を取り込みます。ガラスとガラスの間には高遮熱ロールスクリーンを配置して空調負荷を低減します。



ダブルスキンウィンドウ

●ダブルスキンウィンドウは風の通り道としても活躍します。

ガラスとガラスの間に空間があり、そこに風が通るエアフローウィンドウとして機能します。直射日光で暖められた室内の空気はこのエアフローウィンドウを通って、屋外へ排出され、室内の温度上昇を抑えます。これによって空間全体がムラのない快適な環境となります。

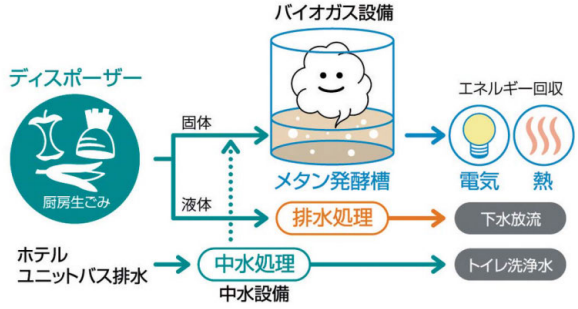


エアフローウィンドウ

バイオガス発電

不動産

あべのハルカスでは、レストランで出る生ゴミ等を使い、バイオガス発電を実施しています。粉砕した生ゴミ等をメタン発酵槽へ送り込み、バイオガスを発生させ、熱や電気を作ります。



太陽光発電 不動産

再生可能エネルギーの啓発を目的として、ガラスルーバーと一体化した結晶型太陽光パネルを、15階南面に設置しています。発電量は、あべのハルカスホームページで公開しています。



あべのハルカスタワー館南面の太陽光パネル

風力発電 不動産

あべのハルカス近鉄本店ウイング館屋上に、マイクロ風力発電装置を3基設置しています。発電量は、あべのハルカスホームページで公開しています。



風力発電装置

落水発電 不動産

ホテルの雑排水がビルの上から下に落ちる勢いを利用して、落水発電をしています。発電量は、あべのハルカスホームページで公開しています。



落水発電（落水エネルギー回収装置）

大阪府「おおさか優良緑化賞」奨励賞を受賞 不動産

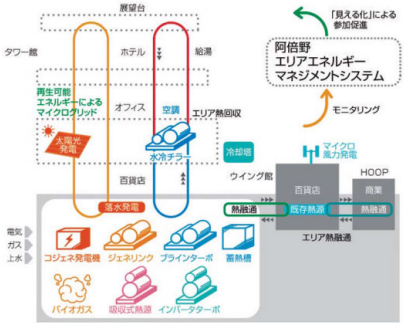
あべのハルカスが、大阪府が主催する「おおさか優良緑化賞」の奨励賞を受賞しました。屋上庭園、天空庭園などの緑化が評価されました。



屋上庭園（16F）

エネルギーの有効活用 不動産 百貨店

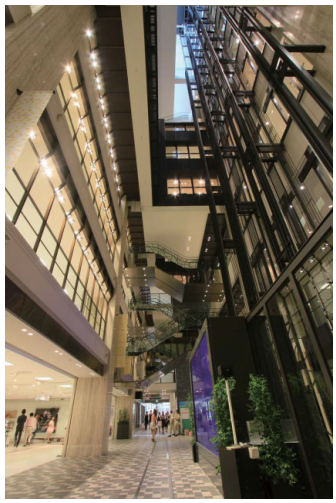
百貨店の冷房で発生した排熱エネルギーをホテルの給湯等に利用。またタワー館、ウイング館（百貨店）、Hoopの3館の空調設備の熱源を一体でコントロールすることで、全体の空調エネルギーを最小化します。



エネルギーの有効活用

省エネ・照明デザインアワード「優秀事例」に選出 百貨店

あべのハルカス近鉄本店が、環境省が主催する「省エネ・照明デザインアワード 2014」において商業・宿泊施設部門の優秀事例として選出されました。魅力的な売場環境デザインと、共用部と売場の照度差を活かし、フロアごとに細かく設計されたメリハリのある照明計画、効率性を鑑みた器具選定により、省エネを効果的に推進していることが評価されました。



ウエルカムガレリア



表彰状

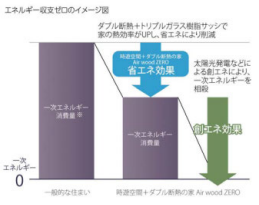
ゼロ・エネルギー・ハウス

不動産

住宅の省エネルギー化に向けて、年間の一次エネルギー消費量を正味で概ねゼロにする「ＺＥＨ（ゼロ・エネルギー・ハウス）」が注目され、政府が普及を推進しています。近鉄不動産（株）では、外壁やサッシの高い断熱性能と、HEMS（ホーム・エネルギーマネジメントシステム）等の省エネ設備によって、消費エネルギーを大幅に削減し、太陽光発電（約5kW）によりエネルギーを創り出すことで、実質のエネルギー消費ゼロを目指す、注文住宅の受注を開始しました。



ゼロ・エネルギー・ハウス



エネルギー収支ゼロのイメージ図

太陽光発電

不動産　ホテル　グループ

近鉄不動産（株）は、三重県伊賀市、志摩市、奈良県大淀町、大分県大分市の4ヶ所にメガソーラー発電所を建設し、発電を開始しています。４ヶ所のメガソーラー発電所の年間総発電量は2,690万kWhで、約7,460世帯分の一般家庭消費電力量に相当します。

さらに5ヶ所目の発電所として三重県伊勢市に「近鉄池の浦ソーラー発電所」の建設を進めており、2016年3月に発電を開始する予定です。

（株）近鉄・都ホテルズが運営するシェラトン都ホテル大阪では、国内ホテル最大級の太陽光発電システム（100kW）を設置しています。また、都ハイブリッドホテルトーランス・カリフォルニア（米国）においても、太陽光パネルを設置しています。



近鉄志摩スペイン村ソーラー発電所

また、三交不動産（株）では、2014年8月に「志摩市阿児メガソーラー発電所」が完成し、既に稼働中の「伊勢二見メガソーラー光の街」、「津メガソーラー杜の街」、2015年12月に完成予定の「松阪山室メガソーラー」をあわせると、2,450万kWhの発電規模の太陽光発電を実施しています。



志摩市阿児メガソーラー発電所

環境にやさしい電気バス

グループ

三重交通（株）は、2014年3月から、地球環境にやさしい電気バスを伊勢市内で運行しています。電気バスには、「ポケットモンスター」で人気の「ピカチュウ」のラッピングを施しています。導入にあたっては国土交通省の「地域交通グリーン化事業」、および「電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会」に取り組んでいる三重県および伊勢市の補助を受けています。大型電気バス(11mクラス)の国産バス改造による通年営業運行は、国内で初となります。



電気バス

ハイブリッドバスの導入

グループ

名阪近鉄バス（株）は、2014年6月、大垣市と周辺市町を結ぶ路線で「ハイブリッドバス」の運行を開始しました。ディーゼルエンジンとモーターを併用して、環境への負荷を軽減できる最新のシステムを搭載しています。車体のデザインは、水都「大垣」、清流「揖斐川・長良川」沿いの水郷地帯に爽やかに水が流れる様子をイメージしています。



ハイブリッドバス

非電化区間の環境負荷低減車両「Smart Best」

グループ

電車は電気で動きますが、非電化区間においては、ディーゼルエンジン等で運行するのが一般的です。近畿車輛（株）が新たに開発した「Smart　Best」では、ディーゼルエンジンで発電した電気を、車載の高性能バッテリーに蓄え、モーターを駆動して運行する電車です。従来のディーゼル車に比べてエンジンが小さく、低燃費、低騒音、低振動を実現し、ブレーキ時に発生する電力も回生電力としてバッテリーに回収し、利用する省エネルギーな電車です。今後、製品化をすすめ、非電化区間での運行を目指します。



環境負荷低減車両「Smart Best」

英虞湾における干潟再生事業 ホテル

伊勢志摩国立公園の英虞湾では、かつて湾奥部に広がっていた干潟のうち、約70%が干拓により失われています。現在、「新しい里海創生によるまちづくり」の取組みの一環として、かつて干潟だった沿岸休耕地に海水を導入して干潟の再生をめざす試みが始まっています。

環境省は、国立公園の海域の景観、生物多様性の保全および創出を図る観点から、(株) 近鉄・都ホテルズが運営するホテル近鉄アクアヴィラ伊勢志摩内の沿岸休耕地 (約1ha) において、2012年に水門を開放し、干潟の再生の取組みを開始し、同社は土地所有者として協力しています。

本事業は、国立公園の適正海域管理推進事業 (通称「マリンワーカー事業」) として実施するもので、環境省、同社、漁業者および関係行政機関等との協働により進めるものです。当初予定していた事業期間 (2012年9月～2015年3月) が終了しましたが、2015年4月以降は環境省にかわり志摩市が参加し、取組みを継続しています。

水門開放後は、生物や環境の定期的な調査や、地域住民やホテル近鉄アクアヴィラ伊勢志摩の宿泊客等を対象に、自然観察会や自然体験プログラムを実施しています。



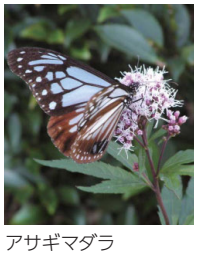
再生干潟に網を張る様子

自然公園の利用促進と自然との共生 グループ

三重県観光開発 (株) は、1964年の伊勢志摩スカイライン開業と同時に、自然公園法の認可を受けて、伊勢志摩国立公園の最高峰「朝熊山」において「公園事業」をおこない、かけがえのない自然の恵みに支えられています。「朝熊山」は植物学上、暖地性と寒地性の植物が交錯する上、蛇紋岩地帯の特殊条件もあり、「朝熊七草」など古くから植物の宝庫と言われ、「植物自然教室」など様々な活動を通じて、自然環境保全や再生への積極的な取組みを行うとともに、社員に対しては、現場の知識と実行力を高めるため、日本自然保護協会が養成する「自然観察指導員」講習会参加を奨励しており、自然公園の利用促進と「持続可能な豊かな自然」を次世代に引き継ぎます。



伊勢志摩スカイライン



アサギマダラ



アサマリンドウ

生物多様性に配慮した「いきもの共生事業所認証®」を集合住宅として初取得 不動産

近鉄不動産 (株) と (株) 大京が建設したマンション「ライオンズ港北ニュータウンローレルコート」が、一般社団法人いきもの共生事業推進協議会 (ABINC) の「いきもの共生事業所認証 (集合住宅版)」を集合住宅として初取得しました。この制度は、一般社団法人「企業と生物多様性イニシアティブ (JBIB) が開発した「いきもの共生事業所®推進ガイドライン」を評価基準に、同協議会が第三者的に評価・認証を実施しています。

本マンションの主な特徴は、以下の通りです。

1. パッシブデザインとスマートシステムを融合した生物にも地球環境にも優しい街づくり

水、緑、光、風などの自然エネルギーを活用するパッシブデザインに太陽光発電と蓄電池などを用いた先進のスマートシステムを融合し、省エネ・節電に取り組む新たな環境共生住宅を提案しました。

2. 入居後も持続可能な生態系配慮型植栽管理体制

植栽やビオトープ (生物生息空間) の生態系の定期報告、管理方法の提案を行う他、居住者向けの各種イベントを企画します。また、管理組合に「ビオトープ担当理事」を選任し、年1回の専門家による植栽とビオトープの「環境調査」と年3回の「協働巡回」に同行します。



ふれあいの森 (イメージ図)

食品リサイクルの試み グループ

(株) 近商ストアが運営するスーパーマーケットでは、鮮度の良い商品を販売するため、店舗で多くの食品を調理、加工しています。その中で、野菜の葉くずや、そぎ落とした肉のあぶら身、魚の骨やハラワタなど、商品にならなかった残りの部分が大量のゴミとなってしまいますが、そのままゴミとしないために、回収して飼料などにリサイクルしています。牛脂 (あぶら身)、魚のあら、使ったあとの食物油は、それぞれ専門の業者が回収し、エサなどの原料として再利用されています。

また、一部の店舗では、野菜くずなどの生ゴミを特殊な方法で炭のような状態にして、炭がもつ保水力を活かして土壌改良剤として利用することで、ゴミの減量に努めています。

水の再利用 グループ

(株) 志摩スペイン村では、汚水処理施設によってテーマパーク・ホテルの汚れた水を浄化し、中水としてトイレの洗浄水や樹木および花への散水として再利用し、海への放流をできるだけ減らしています。



志摩スペイン村



グランモンセラー&スプラッシュモンセラー

近鉄グループ
ホールディングス

FSC
www.fsc.org
ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C012257

VEGETABLE OIL INK

※ユニバーサルフォントを
使用しております。